

琉球大学学術リポジトリ

「授業と学習集団」に関する研究文献 (3) (1958～79年)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教育学部 公開日: 2007-07-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤原, 幸男, Fujiwara, Yukio メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/1090

「授業と学習集団」に関する研究文献（3）
（1958～79年）

藤原幸男

A List on "Teaching and Learning Collective"
in Japan (3) (1958~79)

Yukio FUJIWARA*
(Received November 30, 1990)

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
58. 5 6 7	東井義雄『学習のつまずきと学力』明治図書 深谷銚作「授業と集団教育」(小川太郎編『集団教育実践論』明治図書) 小川太郎編『国民のための道徳教育』法律文化社 第1部第5章 生活綴り方と仲間づくり(深谷銚作)
59. 2 10 10	吉本均「教科学習のなかで道徳教育をどのようにすすめたらよいか」(佐藤正夫ほか『道徳教育』西日本図書) 「特集、教科と生活指導」(『生活指導』3号) 宇高申・大畑佳司・坂本光男・竹内常一・高桑康雄・千葉篤「問題提起・教科指導に対する生活指導の役割」 〔提案に対する意見〕 今井誉次郎「両者を対立的に考えぬがよい」 大村栄「生活指導は教科指導に隷属しない」 土田茂範「綴り方はあくまで綴りでいけないか」 斎藤浩志「生活指導の概念が不明確」 宮坂哲文「経験主義教育一般と混同」 馬場四郎編『集団教育の展開』明治図書
60. 1 2 4 6	「実践記録、教科指導の中で子どもをどう理解しどう発展させたか」(『生活指導』6号) 湯田堯「社会の構造に視点をすえて」 稲垣寿年「あかるい教室へ」 春田正治「教科における生活指導ということ—二つの実践記録を読んで—」 鈴木喜代春「教科指導と生活指導—とくに社会科を中心として—」(『生活指導』7号) 斎藤喜博『授業入門』国土社 「教科と生活指導」(『生活指導』11号)

*Department of Education, College of Education, University of the Ryukyus.

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
6	井野浩「学習意欲と認識の深化」 大谷三郎「両者のつながりを考える」 佐藤正夫・吉本均編『生活指導の実践過程』御茶の水書房 第4章 教授・学習過程における生活指導（吉本均）
9	「特集、学習意欲の組織化」（『生活指導』14号） 大畑佳司「提案・学習意欲をどう組織化するか」 〔提案に対する意見〕 滝沢友次「私が授業の中で思ったこと」 鈴木秀一・阿部文男「歴史的な問題把握と授業の組織」 沢田健二「『教えない教育』の教えるもの」
10	高浜介二「書評／佐藤正夫・吉本均著『生活指導の実践過程』」（『生活指導』15号）
10	宮坂哲文「学級づくりの教育構造」（『児童心理』167号）
12	市岡正憲「数学教育と生活指導」（『生活指導』17号）
61. 2	「特集、授業を深める」（『生活指導』19号） 勝田守一「生活指導と教科の本質」 砂沢喜代次「学習過程と生活指導」 〔授業過程の中で生活指導をどう進めるか〕 雄長忠「学習意欲の向上と認識の深まり」 西田喬「国語科の授業を中心に」 本庄満「社会科の授業を中心に」 瀬畑二郎「体育と生活指導について」 川合章・寒川道夫・鈴木喜代春「四氏の実践記録をめぐって」
4	「特集、教育実践と学習集団」（『教育』127号） 大田堯「学習と集団」 竹内常一「学習集団の形成は可能か」 〔学習する集団としての学級〕 湯田堯「小学校」 駒井豊「中学校」 小島昌夫「高校」 高桑康雄「〈資料室〉学習集団」
4	春田正治「生活指導と教科指導の統一」（『教育評論』109号）
5	東井義雄『授業の探究』明治図書
6	「特集、再び『授業を深める』をめぐって」（『生活指導』23号） 前沢泰「授業を深めるための視点」 大畑佳司「新しい視点からの追求を」 春田正治「生活指導における教科の問題」
7	「特集、授業に子どもをどう取り組ませるか」（『生活指導』24号） 小川太郎「授業に子どもをどう取り組ませるか」 高桑康雄「授業への子どもの学習意欲」

年 月	著書・論文	所収雑誌・出版社
	<p>矢川徳光「授業における秩序」 〔実践報告〕</p> <p>平出はず「生活要求と教材を構造的に組み立てる」</p> <p>鞠川了諦「テストにつらなる学習の打破」</p> <p>宮坂哲文・鈴木喜代春・横川嘉範・阿部進ほか「共同研究／子どもの学習意欲をめぐる諸問題－秋田学級の授業分析」</p>	
9	「特集、教科指導と生活指導の統一」(『生活指導』26号)	
	宮坂哲文「教科指導と生活指導の統一ということ」	
11	広島県生活指導研究会「共同研究／生活指導の思想・教授学習過程」(『生活指導』28号)	
12	竹内常一「図画工作・美術科と生活指導」(『生活指導』29号)	
12	春田正治「生活指導と教科指導の固有性と関連性」(『生活教育』13巻14号)	
62. 1	<p>横地清「数学教育の本質」(『生活指導』31号)</p> <p>竹内常一「数学科と生活指導－横地論文を読んで－」(同上)</p> <p>小池浩文「教科と生活指導をどう結びつけるか」(同上)</p>	
1	小川太郎「学校教育と集団学習」(『児童心理』182号)	
3	半沢健「理科教育の本質と生活指導」(『生活指導』33号)	
	竹内常一「半沢氏の論文を読んで」(同上)	
5	<p>全生研編『学級集団づくり(小学1年～6年)』明治図書</p> <p>大畑佳司「小学校1年の学級集団づくり－教科との関連で－」(『小学1年』)</p> <p>鈴木喜代春「小学校2年の学級集団づくり－教科との関連－」(『小学2年』)</p> <p>上田進「小学校3年の学級集団づくり－教科との関連で－」(『小学3年』)</p> <p>市岡正憲「小学校4年の学級集団づくり－教科(水道方式による計算指導を中心に)との関連で－」(『小学4年』)</p> <p>青柳博純「小学校5年の学級集団づくり－教科との関連で－」(『小学5年』)</p> <p>山形英二「小学校6年の学級集団づくり－教科との関連で－」(『小学6年』)</p>	
7	<p>宮坂哲文『生活指導の基礎理論』誠信書房</p> <p>第5章 教科指導と生活指導</p> <p>一 学習指導と生活指導</p> <p>二 教科指導と生活指導</p> <p>三 学習集団の教育構造</p>	
7	<p>「特集、今日における学習集団の思想」(『生活指導』37号)</p> <p>大橋精夫「今日における学習集団の思想」</p> <p>鈴木秀一「学級集団づくりにおける学習運動」</p> <p>〔実践報告〕</p> <p>服部潔「小学校低学年の学習運動」</p> <p>小田川和「小学校中学年の学習運動」</p> <p>小川玄「小学校高学年の学習運動」</p> <p>近藤説三「中学校における学習運動(1)」</p> <p>小柳津東邑「中学校における学習運動(2)」</p>	

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
<p>9</p> <p>9</p> <p>10</p> <p>12</p> <p>12</p>	<p>竹田友三「高校ホームルームと勉強仲間の成長」</p> <p>竹内常一「集団づくりと学習運動の接点—六つの実践報告を読んで—」</p> <p>佐藤正夫「教科と生活指導の関連統一の方法」</p> <p>「国語科指導と学級集団づくり1～5」(『生活指導』39～45号、62.9～63.3)</p> <p>1 前沢泰「国語科指導における徳育過剰」(62.9)</p> <p>2 横川嘉範「モラルの過剰とモラルの喪失」(62.11)</p> <p>3 千葉篤「観念・形式が強調された低俗な実用主義」(62.12)</p> <p>4 大畑佳司「モラルのハイカラな粉飾」(63.1)</p> <p>5 学級づくり委員会「教材の非科学性をつく」(63.3)</p> <p>東井義雄『国語授業の探究』明治図書</p> <p>岩浅農也「集団における学習過程の追究」(『教育技術・学習心理』小学館)</p> <p>「特集・集団学習を検討する」(『教育技術・学習心理』)</p> <p>〔シンポジウム・現代における集団学習の課題〕</p> <p>矢口新「提案1、教育における集団と個」</p> <p>春田正治「提案2、集団学習の前進のために」</p> <p>波多野完治・矢口新・春田正治・浜田陽太郎・河野重男・岩浅農也「共同討議・新局面に立つ集団学習」</p> <p>杉山明男「集団の学習はどのように成立するか」</p> <p>「特集・これからの授業研究(五大学共同研究の成果)」(『現代教育科学』56号)</p> <p>砂沢喜代次「五大学共同研究の発足にあたって」</p> <p>神戸大学グループ「教材観と主体的学習の過程」</p> <p>末吉悌次「集団過程としての学習指導」</p> <p>佐藤正夫「教授における思考過程と過去経験」</p> <p>木原健太郎「課題解決におけるイニシャティブとしての教師の機能」</p> <p>北大グループ「思考様式を変えるための教材提示と学習効果」</p> <p>宮坂哲文「授業過程と学級集団の成長過程」</p>
<p>63. 4</p> <p>4</p>	<p>吉本均「集団づくりの見通しと教科の役割」(『生活指導』46号)</p> <p>「特集、学習にとりくむ集団づくり」(『生活指導』47号、臨時増刊)</p> <p>〔小学校の場合〕</p> <p>大畑佳司「小学一年学習にとりくむ集団づくり」</p> <p>松代正彦「小学二年学習にとりくむ集団づくり」</p> <p>東京・杉並サークル「小学三年学習にとりくむ集団づくり」</p> <p>横山泰夫「小学四年学習にとりくむ集団づくり」</p> <p>金沢隆夫「小学五年学習にとりくむ集団づくり」</p> <p>青木博「小学六年学習にとりくむ集団づくり」</p> <p>〔中学校の場合〕</p> <p>長野・川中島中学校「教科別学習集団育成の実践計画」</p> <p>東久保勇「生徒会によって組織された学習集団」</p> <p>小柳津東邑「集団意識が学習行動意欲を高める」</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>〔高校の場合〕</p> <p>鞠川了諦「能力別編成を崩壊させたHRづくり」</p> <p>西平正喜「学習への自覚を促す集団づくり」</p> <p>〔特殊学級の場合〕</p> <p>河合久治「盲学校・学習にとりくむ集団づくり」</p> <p>4 「継続研究／学級集団づくりと授業過程」(『生活指導』46～71号、63.4～65.3)</p> <p>常任委員会編集部「授業過程で班づくりはできるかー前沢氏の国語の授業分析からー」(63.4)</p> <p>常任委員会編集部「授業過程に班学習をどう位置づけるかー横須賀サークル・中村氏の授業分析からー」</p> <p>秋田大三郎「班活動と授業の組織化ー埼玉県浦和・大畑学級の授業分析ー」(63.7)</p> <p>鈴木秀一「授業過程における学習集団づくり」(63.8)</p> <p>大畑佳司「授業の展開と集団の問題ー秋田学級の分析ー」(63.9)</p> <p>大西忠治「授業の班は固有に編成すべきである」(63.11)</p> <p>秋田大三郎「子どもの活動を組織する授業をー大畑学級の授業分析からー」(63.12)</p> <p>千葉篤「教材の質を吟味する事が大切ー埼玉県浦和・坂本学級の授業分析からー」(64.1)</p> <p>大畑佳司「問題点の中間的集約」(64.2)</p> <p>宮坂哲文「まとめと今後への課題」(64.3)</p> <p>前沢泰「学習集団づくりにおける管理と指導ーその研究視点の提出のためにー」(64.4)</p> <p>春田正治「学習集団を論ずる以前にー群馬県島小での集団化についてー」(64.5)</p> <p>千葉篤「班学習と学習体制の確立」(64.6)</p> <p>杉山明男「教科内容と集団づくりの問題」(64.7)</p> <p>吉本均「班学習の意義をめぐって」(64.8)</p> <p>青木一「学級づくりと授業の結接点を求めて」(64.9)</p> <p>大畑佳司「集団の質と授業のかかわり」(64.10)</p> <p>春田正治「何が問題にされなければならないか」(64.11)</p> <p>千葉篤「教科学習の積極分子はどこで育てられるか」(65.1)</p> <p>大畑佳司「グループ学習との相違を明らかにしよう」(65.2)</p> <p>春田正治「ちがいを明らかにした上で」(65.3)</p>
4	小川太郎『教育と陶冶の理論』明治図書
4	宮坂哲文・東大付属中学校「継続共同研究／学習集団をめざす授業研究」(『教育技術・学習心理』小学館)
5	<p>全生研常任委員会『学級集団づくり入門』明治図書</p> <p>Ⅶ 教科指導と学級集団づくり</p> <p>1 教科指導と学級集団づくりとの関連</p> <p>2 学習集団</p> <p>3 学習運動</p>
5	宮坂哲文編『分団指導ー班学習の展開ー』明治図書

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	分団指導の基本問題 (宮坂哲文)
	低学年における実践 (その1) (楠井恵子)
	低学年における実践 (その2) (池上芳彦)
	低学年における実践 (その3) (吉田六太郎)
	中学年における実践 (その1) (石井昭示)
	中学年における実践 (その2) (片原庸子)
	高学年における実践 (その1) (市岡正憲)
	高学年における実践 (その2) (小田川和)
	高学年における実践 (その2) (井上武雄)
5	宮坂哲文『集団主義と生活綴方』明治図書 八 集団は子どもの認識を高めるか
5	砂沢喜代次「継続共同研究/思考過程からみた授業過程」(『教育技術・学習心理』)
5	小川太郎「授業過程と集団」(『生活指導』48号)
6	城丸章夫「書評/小川太郎著『教育と陶冶の理論』」(『生活指導』49号)
6	宮坂哲文「教授学と訓育論」(『現代教育科学』62号)
	矢川徳光「教育科学としての教授学と訓育理論」(同上)
	大橋精夫「教授学と訓育論をめぐって」(同上)
	小川太郎「教授の訓育的性格」(同上)
	柳久雄「教授と訓練、訓育概念の歴史的検討」(同上)
8	庄原市教育委員会編『集団の教育』部落問題研究所
9	宮坂哲文「集団学習と生活指導」(『児童心理』202号)
9	宮坂哲文「学級経営改革の構想」(『教育技術・学習心理』)
	杉山明男「継続共同研究/教材観と教授過程」(同上)
10	吉本均・広島県高陽中学校『学級活動の創造—受験体制の打破をめざして—』明治図書
10	滝沢武久「集団思考と科学的概念の形成過程」(『授業研究』1号)
11	「特集、班学習をどう位置づけるか」(『生活指導』54号) 杉山明男「学級集団づくりと授業過程」 島田啓二「班学習とグループ学習の質的相違」 吉本均「班学習とは何か」 〔実践報告/班学習をどう位置づけるか〕 横山泰夫「学習観の変革をめざして」 池上芳彦「宿題と集団の変化との関係」 金子喜久士「学習差別をなくすために」 猪瀬統治郎「集団の学習権を確立する」 大畑佳司「共通のイメージは未成立」 土田光孝「学習固有の問題の追求を」
12	「特集、授業における集団思考」(『授業研究』2号) 砂沢喜代次「子どもの認識過程と集団思考の発達」 末吉梯次「集団学習の形態と集団思考」 片岡徳雄「学級集団の構造と集団学習」

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>大久保忠利「討論指導による言語＝集団思考能力の向上」 蜂屋慶「集団思考における教師の指導性」 木原健太郎「コミュニケーション技術と集団思考の訓練」</p>
64. 1	坂本光男「書評／吉本均・広島県高陽中学校著『学級活動の創造』(『生活指導』56号)
2	佐藤正夫「継続共同研究／思考過程を中心とする授業研究」(『教育技術・学習心理』)
2	<p>「特集・授業をどう組織化するか」(『授業研究』3号) [授業を組織化するための基本的な条件] 岩浅農也「学習集団の成長過程における問題点」 [授業過程における組織化の契機] 井上隆基「子どもの発言・話しあいの組織化」 熊沢文男「子どもの疑問・つまずきの組織化」 小林喜三男「子どもの感情・思考の動きの組織化」</p>
3	<p>砂沢喜代次「授業研究の内容と方法の組織化を」(『教育技術・学習心理』) 杉山明男「『効果的な授業』を生み出す組織運動」(同上) 佐藤正夫「『あるべき授業』の基本的特徴」(同上)</p>
4	<p>砂沢喜代次編『講座・授業研究、Ⅳ、授業における集団過程』明治図書 大橋精夫「学習集団の思想(科学と集団主義)」 杉山明男「授業過程と学級集団の成立過程」 城丸章夫「集団過程と授業の組織化」 春田正治「学習集団の組織方法」</p>
4	大西忠治「集団的学習スタイルの確立」(『教育技術・学習心理』)
4	<p>大西忠治「一年間の授業記録」(『教育科学・国語教育』65～76号、64.4～65.3) 1 グループ学習の中から(64.4) 2 授業のための学習集団(64.5) 3 文章タイプにそくした系統指導(64.6) 4 非文学的文章の三つの基本タイプ(64.7) 5 学習意欲は何で高まるか(64.8) 6 非文学的文章の読みとりを基礎に(64.9) 7 非文学的文章の読みとりを基礎に(64.10) 8 文学作品の読みとりをどう導くか(64.11) 9 文学作品の読みとりをどう導くか(2)(64.12) 10 文学作品の読みとりをどう導くか(3)(65.1) 11 国語科における班学習(65.2) 12 国語科における班学習(2)(65.3)</p>
5	<p>小川太郎「[提案] 科学としての教育学の構想」(『別冊・現代教育科学』2号) [意見] 大橋精夫「教授学と訓育論の理論的一般化を」 海後勝雄「教科と生活指導の二本立て構想への疑問」</p>
6	吉本均「学習意欲開発の基盤－集団づくりと学習意欲の関連－」(『授業研究』6号)

年 月	著書・論文	所収雑誌・出版社
6	宮坂哲文『学級経営入門』明治図書 第一章 学級経営とは何か 第二章 学級集団づくりの基本構造 第三章 教科経営の基本問題 第四章 授業経営と学級経営 第五章 日本における学級経営の歴史	
7	千葉篤「書評／砂沢喜代次編『授業における集団過程』」(『生活指導』62号)	
8	杉山明男「書評／宮坂哲文『学級経営入門』」(同上)	
9	岩手県盛岡市杜陵小学校『認識を高める授業』明治図書	
9	H・クライン(吉本均訳)『教授の原則』明治図書	
9	吉本均「授業分析の視点をどこにすえるか」(『授業研究』9号)	
9	大橋精夫『現代教育方法論批判』明治図書	
9	「特集・『授業・学習過程』研究の構想」(『授業研究』10号) 五大学共同研究事務局「『教授・学習過程』の構想」	
10	「特集・集団づくりは授業の質をどう変えるか」(『現代教育科学』80号) 小川太郎「集団づくりを基礎に授業を創る」 大橋精夫「集団づくりと教科内容の問題点」 春田正治「小集団学習と集団づくりの相違点」	
11	宮坂哲文編『集団主義教育の本質』明治図書 川合章「教育内容と集団主義」 大橋精夫「授業における集団主義」	
12	「特集・集団学習をどう展開するか」(『授業研究』13号) 吉本均「集団学習—その意義と必要性」 〔集団学習の実践的検討—集団思考成立の可能性を追求する—〕 半沢健「〔一斉学習の立場から〕教科・教材の論理性を重視する」 大西忠治「〔班学習の立場から〕“思考”成立の集団的条件をつくる」 吉田六太郎「〔グループ学習の立場から〕思考のつみあげをねらう小集団思考」 斎藤浩志「集団学習の組織方法とその展開」 〔事例研究・集団学習をどう展開するか〕 前沢泰「学習集団の形成をめざして(中学校国語)」 岩浅農也「“班学習”と社会科(中学校社会)」 市岡正憲「集団づくりと教材の構造分析から(小学校算数)」	
12	春田正治「民主主義道徳の内容体系(7学習労働への集中)」(春田正治・宮坂哲文編『今日の道徳教育』誠信書房)	
65. 1	正慶岩雄「学習票を中心にした班学習の計画」(『生活指導』69号)	
2	「特集・学習要求をどう組織するか」(『生活指導』70号) 大橋精夫「学習要求をどう組織するか」 小沢有作「学習権の自覚」 阿部文男「授業の組織化と集団主義」	

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	〔実践報告〕 横山泰夫「学習集団化をめざすなかで」 菅原恭正「自信と見通しをもたせながら」 渡辺善夫「学習に対する目的意識の自覚を」 矢野太一「サークルづくりとHR活動で」 村越末男「仲間づくりと闘うことのなかで」
2	佐藤正夫「書評／大橋精夫著『現代教育方法論批判』」(『生活指導』70号)
2	高場昭次『同和教育と授業』部落問題研究所
3	田川精三「書評／宮坂哲文『集団主義教育の本質』ほか」(『生活指導』71号)
5	馬場四郎編『授業の探究』東洋館出版 馬場四郎「授業研究の諸類型」 吉本均「授業分析の視点をどこにおくか」 鈴木秀一「授業過程における思考と研究」ほか
5	吉本均・大西忠治『集団づくりと授業過程』明治図書 I 集団づくりと授業過程の関連 一 研究者としての考察(吉本均) 二 実践家としての考察(大西忠治) II 集団づくりは授業の質をどう変えるか 一 学習内容と集団づくり(岩浅農也) 二 教科指導における集団づくり(中原朗) 三 学級集団づくりから学習集団づくりへ(近藤説三) 四 学級集団と授業の関係(片岡徳雄) III 授業における訓育的側面の研究 一 教科指導の訓育的影響と集団の教育(工藤綏夫) 二 授業における訓育過程(A)(米沢章) 三 授業における訓育過程(B)(内藤優) 付録 班学習の検討(前沢泰)
6	「宿題と自主学習」(『生活指導』74号) 佐藤三郎「学習権の確立をめざして(中学校)」 山崎鶴雄「学習意欲の喪失を回復する(高校)」
7	千葉・柏市田中小学校「実践報告・学習訓練の計画と展開」(『授業研究』20号) 吉本均「田中小学校の実践記録を読んでー授業改造と学習訓練の関係」(同上) 石田明「中学校の学習訓練の方法」
9	岩手県盛岡市杜陵小学校『授業と集団』明治図書
9	吉本均・太田悦生「生活指導の発展史と学習集団の問題」(『生活指導』78号)
10	全生研編『学習にとりくむ集団づくり』明治図書 I 学習にとりくむ集団づくり(竹内常一) II 集団は学習にどうとりくむか(坂本光男) III 学習にとりくむ集団づくり実践 一 小学校低学年の実践(三苫正敏)

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
6	二 小学校中学年の実践 (吉田六太郎) 三 小学校高学年の実践 (金沢隆夫) 四 中学校一年の実践 (榊井孝) 五 中学校三年の実践 (平沢孝保・大塚精子) IV 実践の分析とこれからの課題 (前沢泰)
11	小川太郎「教授と訓育の関連」(『現代教育科学』95号)
12	ゲルハルト・ノイナー (大橋精夫訳)「陶冶の社会主義的構想ならびに陶冶と訓育の統一」(『ソビエト教育科学』23号、明治図書)
66. 1	「特集、集団は学習にどうとりくむか」(『生活指導』83号) [シンポジウム提案] 大西忠治「学習集団の形成過程」 [提案に対する意見] 吉本均「集団思考の組織化の条件を探る」 大槻健「教科指導がもつ“集団性”をどう考えるのか」 城丸章夫「教科指導観の是正が生活指導観を正す」 前沢泰「集団づくりの構想が形式化に陥っていないか」 [実践報告] 橋田勘歳「教科の学習集団と班学習の機能を使いわける」 家久来庄吉「学習観の確立と学習運動の推進を軸に」 小島昭道「教科と教科外の全体構造のなかでとらえる」
2	吉本均『授業と集団の理論』明治図書 第I章 学級経営の教育構造 第II章 授業過程の構造 第III章 訓育過程の展開 第IV章 学習集団の形成
4	「リレー討論、授業と集団」(『現代教育科学』101～113号) 吉本均「授業過程と集団づくり」(66.4) 蜂屋慶「授業と集団の質をめぐって」(66.5) 大西忠治「学級という集団の不安定さ、あいまいさ」(66.6) 砂沢喜代次「『日本の学級』における授業と集団との弁証法的関係を」(66.7) 木原健太郎「授業場面のメカニズムの追求を」(66.8) 片岡徳雄「授業の計画レベルと実践レベル」(66.9) 吉本均「学校教育の内部構造を究明するなかで」(66.10) 竹内常一「『授業と集団』研究のための前提」(66.11) 前沢泰「『授業と集団』の固有の問題とはなにかがわからない」(66.12) 大畑佳司「出つくした授業と集団の問題点」(67.1) 吉本均「授業と集団をめぐる討論の総括—『訓育的教授理論』の確立を求めて—」(67.3)
4	全生研編『集団づくりと家庭学習』明治図書

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	I 学習集団の形成と家庭学習 (竹内常一) II 家庭学習と集団づくり (横川嘉範) III 集団づくりにおける家庭学習へのとりくみ 一 小学校低学年 (市岡正憲) 二 小学校中学年 (秋田大三郎) 三 小学校高学年 (鶴田要一郎) 四 中学校一年 (八田良一) 五 中学校三年 (児山正明) IV 実践の分析とこれからの課題 (前沢泰)
4	「特集、中・高校生の学習意欲の荒廃をつく」(『生活指導』87号) 〔実践記録／学習意欲荒廃の現実とどうとりくむか〕 山田公明「グループ学習で学習意欲向上を」 西村啾也「教師の権利回復が先決する」 仲村哲郎「学習集団活動の組織化を図る」 杉山明男「学習意欲の荒廃にどうとりくむか」
4	吉本均「学級経営の構想と授業研究の計画」(『授業研究』30号)
5	大西忠治「書評／吉本均著『授業と集団の理論』」(『授業研究』31号)
5	坂本泰造「班競争をととして学習意欲をどう高めたか」(『生活指導』88号)
6	大橋精夫「書評／吉本均著『授業と集団の理論』」(『生活指導』89号)
7	「特集・授業における学習態度の指導」(『授業研究』33号) 広島県比婆郡森小学校・吉本均「学習への態度変容の実践過程」 市岡正憲「小学校中学年・学習態度の指導」 吉田六太郎「小学校高学年・学習態度の指導」
8	大橋精夫「集団づくりはどのような認識を育てるか」(『生活指導』91号)
9	山田敏文「書評／『集団づくりと家庭学習』」(『生活指導』92号)
9	「特集・小集団指導による思考訓練」(『授業研究』35号) 仲田湛和「国語教材における小集団指導」 市岡正憲「算数・数学教材における小集団指導」
9	吉本均「教科指導における集団主義的特質」(『現代教育科学』107号)
10	吉本均・広島県東城町立森小学校『集団思考の態度づくり』明治図書
10	現代中等教育研究会編『授業と学級集団づくり、中学一年』明治図書 I 授業と学級集団の構造 (高桑康雄) II 学習集団の指導と管理 (大西忠治) III 授業を変革する学級集団づくり 一 学級の集団はどう授業を変えるか (猪瀬統治郎) 二 教科内容は学級の集団化にどうかかわるか (岩本憲) 三 学級の集団化は授業効率をどうあげるか (河田敬一郎) IV 授業を支える学習集団づくり 一 授業と集団づくりの小集団 (班) 編成はどう違うか (米沢章) 二 授業と集団づくりのリーダー (核) はどう違うか (児山正明)

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>三 教師の指導性と学習集団のリーダー（核）の役割（宮手毅）</p> <p>V 学習集団の前進</p> <p>一 集団が個別援助に取り組むまで（家久来庄吉）</p> <p>二 集団思考が学級の意識を変えるまで（近藤説三）</p>
10	現代中等教育研究会編『授業と学級集団づくり、中学二年』明治図書
10	現代中等教育研究会編『授業と学級集団づくり、中学三年』明治図書
	<p>I 授業と学級集団の構造（吉村均）</p> <p>II 学習集団の指導と管理（大西忠治）</p> <p>III 授業を変革する学級集団づくり</p> <p>一 学級の集団化はどう授業を変えるか（平沢孝保）</p> <p>二 教科の学習指導と学級づくり（岩浅農也）</p> <p>三 学級の集団化は授業効率をどうあげたか（家本芳郎）</p> <p>IV 授業を支える集団づくり</p> <p>一 授業と集団づくりの小集団（班）編成はどう違うか（石田明）</p> <p>二 授業と集団づくりのリーダー（核）はどう違うか（柴崎二郎）</p> <p>三 教師の指導性と学習集団のリーダー（核）の役割（本庄満）</p> <p>V 学習集団づくりの前進</p> <p>一 集団が個別援助にとりくむまで（有田昭五郎）</p> <p>二 集団思考が学級の意識を変えるまで（内藤優）</p>
11	<p>「特集、認識過程と集団過程の関連を探る」（『授業研究』38号）</p> <p>吉田昇「中学生の思考・学力と授業」</p> <p>砂沢喜代次「第二回全授研大会と総合調査について」</p> <p>〔国語科指導過程の研究〕</p> <p>仲田湛和「〈最後の授業〉の学習」指導計画と授業展開」</p> <p>杉山明男「〈授業分析〉“文学の授業”固有のあり方を追求」</p> <p>大槻和夫「〈授業分析〉授業展開の一般方式にしばられるな」</p> <p>鈴木秀一「〈授業分析〉“典型読み”を意識しすぎていないか」</p> <p>三枝康高「教材分析の視点と指導過程の組み立て」</p> <p>〔社会科指導過程の研究〕</p> <p>柴崎忠久・大石健次「〈朝鮮〉の学習」指導計画と授業展開」</p> <p>岩浅農也「〈教材分析〉指導案と授業のズレ」</p> <p>小田切正「〈教材分析〉子どもの思考と感性の融合を」</p> <p>恒吉宏典「〈教材分析〉生徒の思考を規定する教師発言」</p> <p>〔理科指導過程の研究〕</p> <p>森学・大場裕「〈静電気・金属・塩〉の学習」指導計画と授業展開」</p> <p>高旗正人・讃岐幸治「〈教材分析〉教師の指導性と授業の質はどうか変わるか」</p> <p>高村泰雄「〈教材分析〉教材のねらいと達成度の吟味」</p> <p>吉本均・小林一久「教材分析の視点と指導過程の組み立て」</p> <p>〔数学科指導過程の研究〕</p> <p>橋爪一敏「〈中点連結定理〉の学習」指導計画と授業展開」</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
12	斎藤浩志「〈教材分析〉授業における“情動と論理”」 〔英語科指導過程の研究〕 大沢俊成「〈仮定法過去〉の学習」授業理論と実際の授業に“差”が」 細谷俊夫・岩浅農也・小柳恭治・新堀通也・森学「〔シンポジウム〕学力を高める授業の組織化」 佐藤正夫「授業における認識過程研究の方向」 木原健太郎「授業における集団過程研究の方向」 東京大学グループ「教材・指導過程・学習形態」 吉本均「自主的学習へのとりくみを」(『現代中学教育』3号、明治図書)
67. 1	「特集、授業と集団づくり」(『生活指導』97号) 大畑佳司「授業と集団づくりの研究経過をさぐる」 杉山明男「授業と訓育、教科と訓育、授業と学習集団」 竹内常一「授業と集団づくり—杜陵小学校の『学習集団』論について」 家本芳郎「学習集団を追求する」 〔実践記録／学習集団を追求する〕 坂本光男「学習係は学習の集中性をどうつくり出すか」 大西忠治「学習における教師の指導性とリーダーの問題」 中村敏雄「目標、内容、方法の統一をめざして」 1 吉本均「道徳の授業と学級集団づくり—学級集団の質的発展が道徳の授業をどう変えるか」(『学校教育』591号) 1 「特集・授業改造の焦点と研究計画」(『授業研究』40号) 佐藤正夫「『授業の個別化・集団化』の方向と課題1」 〔授業改造のための校内組織と研究の計画化—小学校の場合〕 岩手県盛岡市杜陵小学校「学習集団の確立までの歩み」 2 小川太郎編『講座・集団主義教育(全3巻)』明治図書 I 集団主義教育の基礎理論 II 教育の現実と集団主義教育 吉本均「中・高等学校の状況と集団主義教育」 III 集団主義教育の内容と方法 杉山明男「教科教育と集団主義教育」 3 新潟県柏崎サークル「授業と集団づくり」(『生活指導』100号) 3 木原健太郎「書評／吉本均・広島県森小学校『集団思考の態度づくり』」(『授業研究』42号) 4 吉本均「連載、授業集団論 1～6」(『現代中学教育』7～12号、67.4～9、明治図書) 1 授業集団論 (67.4) 2 授業における「抵抗」主体の育成 (67.5) 3 授業集団づくりの「前期」と「後期」(67.6) 4 「前期」授業集団の育成 (67.7) 5 集団思考＝行為の組織化 (67.8)

年 月	著書・論文	所収雑誌・出版社
	6 子どもの認識構造の変容 (67.9)	
5	「特集、教科への要求をどう育てたか」(『生活指導』102号) 川合章「人格形成に対する教科の役割」 大西忠治「生活指導教師と教科」	
6	林友三郎「書評／小川太郎編『講座・集団主義教育』」(『生活指導』103号)	
6	「特集・個別指導と集団指導の調和をどうはかるか」(『授業研究』45号) 児山正明「集団指導から個別指導への橋渡し」 高場昭次「社会科授業における個別指導と集団指導」	
6	砂沢喜代次編『講座・子どもの思考構造、4、授業過程と集団思考』明治図書	
	I 集団思考とは何か 鈴木秀一「コミュニケーション構造からみた集団思考」 杉山明男「認識過程をめぐる集団思考」	
	II 集団思考を組織する授業の条件 渋谷俊雄「教材の質量」 高坂保「教材提示」 吉田六太郎「学習形態、集団づくり」	
	III 認識過程における個と集団の関係 大西忠治「知識習得過程」 丹下保夫「技術の習得過程」	
	IV 授業のコミュニケーション構造 木原健太郎「一斉授業の場合」 片岡徳雄「小集団学習の場合」 三宅和夫・若井邦夫「個別学習の場合」	
	V 学級集団の構造と集団思考の質 吉本均「実践知の発達過程と集団思考」 春田正治「班学習の組織化と集団思考」	
8	細川了「授業と集団(提案)」(『生活指導』105号)	
8	大西忠治『学習集団の基礎理論』明治図書	
	一 班学習・グループ学習・集団思考 二 学級集団と小集団指導 三 学級集団 四 学習集団 五 学習集団の指導と管理	
8	大西忠治「『少年の日の思い出』の授業」(『教育科学・国語教育』106号)	
9	竹内常一「〔大西忠治氏の授業について〕教科と学習集団を区分した研究の意味」(『授業研究』48号)	
9	前沢泰「『科学的なものの見方』をめぐる授業」(『教育科学・国語教育』107号)	
9	高山恒重「授業と集団－岩手提案を受けて－」(『生活指導』106号)	
10	三苫正敏・吉田篤行「授業と集団－岡山提案を受けて－」(『生活指導』108号)	
10	砂沢喜代次編『集団思考過程の研究』明治図書	

年 月	著書・論文	所収雑誌・出版社
11	岡山生活指導研究協議会中学部「授業の秩序と集団の規律」	(『生活指導』108号)
11	H・クライン、K・トマシェフスキー (吉本均・中野光・三枝孝弘訳)『授業における陶治と訓育の理論』	明治図書
11	庄司和晃「発言しすぎる子・発言しない子の指導」(『児童心理』252号) 砂沢喜代次「対話を授業の中にどう生かすか」(同上)	
68. 2	「特集、授業における訓育の位置」(『生活指導』112号) 家本芳郎「学習集団づくりの課題」 吉本均「授業における訓育の位置」 坂本光男「学習の成立と集団のちから」 杉山明男「授業における教師の指導性と学級集団の発展」 〔実践記録〕 田村実枝子「子どもひとりひとりを学習の主人公に」 市川康平「学習にたちむかうちからを育てる」 早川嘉春「生徒と協同の授業づくり」	
2	吉本均「全国授業研究協議会広島大会の報告」(『授業研究』53号)	
2	十枝修「書評／大西忠治著『学習集団の基礎理論』」(同上)	
3	佐藤正夫・芝野庄太郎編『現代教育方法学』亜紀書房 Ⅲ 教授＝学習過程 (小田切正) Ⅳ 教授原理 (吉本均) Ⅴ 授業の形態 (恒吉宏典)	
4	小田切正「教師のリーダーシップと集団思考」(日本教育方法学会編『教育方法2、授業改造の基本問題』明治図書)	
4	現代学級経営研究会編『現代／学習集団づくり入門』東方出版 第一章 生き生きとした授業を創造するには 1 学習集団づくりの初期的段階－発言形式の訓練と全員発表運動－ 2 学習集団づくりの後期的段階－発言の質を高める指導－ 第二章 授業秩序を確立するには 第三章 小集団学習をどう使うか 第四章 集団思考を多様化させるには 第五章 学習課題を自覚させるには	
6	「特集、授業における学習集団の指導」(『生活指導』116号) 吉本均「授業における学習集団の指導」 中内敏夫「教科指導の独自の任務」 〔実践記録・授業における学習集団の指導〕 須藤猛「国語の授業における学習集団の指導」 秋田県外国語教育サークル「英語の授業における学習集団の指導」 榎井孝「理科の授業における学習集団の指導」	
6	吉本均「学習課題の系列と授業集団の形成」(吉本均・片岡徳雄・広島大学附属三原小学校『教材の現代化と授業集団の形成』明治図書)	

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
9	<p>「特集・集団思考と授業集団の構造」(『現代教育科学』131号)</p> <p>吉本均「授業集団の構造と形成」 〔集団思考過程における教師の指導性〕</p> <p>島田啓二「小学校段階における問題点」</p> <p>家本芳郎「中学校段階における問題点」</p> <p>西平正喜「高校段階における問題点」</p> <p>白井慎「集団構造の発展段階と集団討議の形態」 〔集団討議をどう組織したか〕</p> <p>高橋啓夫「教師集団の思考の最大限の活用〔小学校〕」</p> <p>岩浅農也「集団思考のためにこそ教材研究を〔中学校〕」</p> <p>長谷川兼治「巡回ノートによる班づくり」</p> <p>小田切正『『集団思考と授業集団の構造』研究の文献課題』</p>
9	<p>現代学級経営研究会編『現代／学級集団づくり入門(班づくり)』東方出版</p> <p>第一章 班は何のためにあるか</p> <p>第二章 班はどのようにしてつくるか</p> <p>第三章 班はどのような活動をするのか</p> <p>第四章 班づくりはどうか発展するか</p>
9	<p>全国授業研究協議会編『授業の集団化』明治図書</p> <p>まえがき(末吉悌次)</p> <p>I 広島県庄原・比婆地区における集団教育の展開(小川太郎)</p> <p>II 訓育の実践過程とその分析</p> <p>一 訓育の課題(杉山明男)</p> <p>二 「テレビと馬」-森小学校二年道徳の分析(斎藤浩志)</p> <p>三 「コタンの口笛」-山内中学校一年道徳の分析(恒吉宏典)</p> <p>III 授業の実践過程とその分析</p> <p>一 国語科における教材研究と集団思考</p> <p>1. 「かもとりごんべえ」-山内小学校二年国語の分析(小田切正)</p> <p>2. 「おじいさんのランプ」-森小学校五年国語の分析(阿部文男)</p> <p>3. 「くもの糸」-八幡中学校一年国語の分析(野地潤家)</p> <p>二 社会科における学習課題と学級集団-「江戸時代の社会と文化」山内中学校二年社会の分析-(細谷俊夫・岩浅農也)</p> <p>三 算数科における集団討議-山内小学校における授業の特質-(片岡徳雄)</p> <p>四 理科における学習目標と指導過程-「酸化と還元」八幡中学校三年理科の分析-(木下繁弥・白銀一彦)</p> <p>五 英語科における集団思考の組織化-「話法の転換」山内中学校三年英語の分析-(五十嵐二郎)</p> <p>IV 授業の組織化と集団思考</p> <p>一 授業のなかで集団思考をどうたかめるか-第四回全授研大会のシンポジウムから-(藤田昌士)</p> <p>二 授業の組織化とその実証の典型(砂沢喜代次)</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>三 今後われわれの研究をどう進めるか (佐藤正夫) あとがき (吉本均)</p>
9	『教育学全集、12、集団と教育』小学館 吉田昇「日本における集団教育の遺産」 吉本均「学級集団と生活指導」 杉山明男「集団による学習指導」
10	日本教職員組合編『私たちの教育課程研究・生活指導』一ツ橋書房 第七章 教科指導と生活指導 一 授業における訓育 二 教科指導と生活指導の関連の歴史 三 授業の固有な役割と授業における訓育作用
10	岩手県盛岡市杜陵小学校『研究集録・学習集団による授業の改造』
10	岡山県生活指導研究会編『教師の指導性と集団の力』明治図書 III 学習班の活動
11	佐藤義行「小学校中学年・全員参加授業の条件」(『授業研究』62号)
12	「特集、授業過程と集団づくり」(『生活指導』122号) 山本洋幸「主張／教科へさらに深く切りこもう」 小笠原英三郎「よい授業で民主的集団が育つか(1)」 前沢泰「よい授業で民主的集団が育つか(2)」 家本芳郎「授業における話し合いの再検討」 [実践記録／授業における討議と学級づくりにおける討議] 岡田克三「別々の形態と組織が必要か」 児山正明「『決議』する討議としない討議」 西平正喜「理論的討議と実践的討議」 鈴木秀一「実践記録の分析／授業における学習集団の指導」
69. 1	近藤説三「書評／全国授業研究協議会編『授業の集団化』」(『生活指導』)
1	砂沢喜代次「望ましい学び方・学ばせ方をめざす教師・生徒の人間関係」(『児童心理』266号) 杉山明男「人間形成をめざす学び方・学ばせ方」(同上) 大西忠治「学び方を育てる集団学級づくり」(同上)
3	佐藤正夫「書評／日教組編『私たちの教育課程研究—生活指導』」(『生活指導』126号)
3	鈴木秀一「授業研究の今日的課題を探る—授業のよし悪しをきめる基準の確立を—」(『授業研究』66号)
4	吉本均編『学習集団づくり入門』明治図書 学習集団とは何か—その思想と形成の道すじ— (吉本均) 全員発言、全員参加の規律を創造するには (倉橋マツエ) 学習秩序を確立するには (番城昌弘・天野文雄) 小集団をどう使うか (細美田鶴枝) 集団思考を深化するために (石川正和・高杉麗子・柿田聡)

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
5	<p>学習目的の確立（天野文雄・渡辺義宣）</p> <p>「特集・一時間の授業過程研究入門」（『授業研究』68号）</p> <p>佐藤正夫「集団関係の分析を中心とした研究の基本」</p> <p>山田登志香「『一時間の授業過程』の報告」</p> <p>広島大学教育方法学研究室グループ「集団関係の分析を中心とした『一時間の授業過程』の研究、3、一集団関係の分析による本時の授業診断」</p>
6	<p>大西忠治「私の宿題観－授業研究の大切さを認識させるために－」（『児童心理』）</p>
7	<p>田島隆「書評／岡生研編『教師の指導性と集団の力』（『生活指導』130号）</p>
8	<p>竹内常一「学習法的生活指導と訓練論的生活指導」（『教育』238号）</p>
9	<p>大西忠治『教師にとって実践とは何か』明治図書</p>
9	<p>武藤孝典「集団思考の組織化」（日本教育方法学会編『教育方法3、授業の組織化と教師の指導性』明治図書）</p>
	<p>島田啓二「集団思考と教師のリーダーシップ」（同上）</p>
11	<p>「特集、授業における問答と討議」（『生活指導』134号）</p> <p>吉本均「授業形態と学習集団」</p> <p>大西忠治「授業における問答と討議」</p> <p>〔実践記録〕</p> <p>田宮輝夫「『テレビとうま』読み方指導の記録」</p> <p>荒川勇喜「授業における問答と討議」</p> <p>須藤猛「国語の授業における問答と討議」</p> <p>前沢泰「分析／学習集団の指導について」</p> <p>竹内常一・大西忠治・藤井正彦・山下直也・土田光孝「〔座談会〕授業における問答と討議」</p> <p>大畑佳司「書評／吉本均編『学習集団づくり入門』（同上）</p>
70.	<p>1 吉本均「『導き・組織する』教師の指導性を」（『授業研究』76号）</p> <p>児山正明「班学習の集団討議の方法」（同上）</p> <p>2 吉本均「授業における個と集団の今日的課題」（新潟大学教育学部付属高田小学校・高田教育研究会『教育創造』170号）</p> <p>2 大西忠治「書評・吉本均編著『学習集団づくり入門』（『授業研究』77号）</p> <p>2 大西忠治『国語授業と集団の指導』明治図書</p> <p>I 授業のスタイル</p> <p>II 教師の発問</p> <p>III 学習のしくみと方法</p> <p>IV 教材分析と授業</p> <p>3 全授研編『授業組織化入門』明治図書</p> <p>序 授業の組織化とは（佐藤正夫）</p> <p>I 授業組織化の視点</p> <p>一 授業展開の予想をどう立てるか（佐藤義行）</p> <p>二 授業の秩序・スタイルをどううち立てるか（天野文雄・柿田聡）</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
4	<p>三 全員参加をどう保障するか (城戸数子)</p> <p>四 小集団学習をどう導入するか (細美田鶴枝)</p> <p>五 学習集団をどう指導するか (吉本均)</p> <p>『別冊・授業研究、学習集団の思想と実践』明治図書</p> <p>〔学習集団の実践の研究方法〕</p> <p>〈提案〉</p> <p>吉本均「学習集団の思想と実践」</p> <p>片岡徳雄「学習集団形成の評価の視点」</p> <p>〈意見〉</p> <p>杉山明男「実践に即した評価と問題提起を」</p> <p>鈴木秀一・阿部文男「集団活動と学習の内的連関の解明を」</p> <p>吉田六太郎「子どものいる事実をつくり出すこと」</p> <p>〔授業で集団をどう考えるか〕</p> <p>〈提案〉</p> <p>大西忠治「授業で集団をどう考えるか」</p> <p>〈意見〉</p> <p>岩浅農也「学習集団と生活集団との相互作用への視点を」</p> <p>庄司和晃「教科内容編成論からの切り込みを」</p> <p>〔学習集団の典型的実践と分析〕</p> <p>佐藤義行「杜陵小における学習集団の実践構造」</p> <p>小田切正「社会科の学習集団の実践と分析 (日本史)」</p> <p>恒吉宏典「社会科の学習集団の実践と分析 (中小企業)」</p> <p>田村実枝子「国語科の学習集団の実践と分析」</p> <p>高村泰雄「理科の学習集団の実践と分析」</p> <p>阿部文男「体育科の学習集団の実践と分析」</p> <p>〔その他〕</p> <p>吉田昇「学習集団の実践と方向」</p> <p>佐藤正夫「科学的教授学の確立と学習集団」</p>
4	<p>〔特集・『学習する集団』へ高める授業指導〕(『授業研究』79号)</p> <p>大西忠治『『学習する集団』への組織化一年間計画の立て方ー』</p> <p>石川正和『『学習する集団』の形成と一斉授業の関連』</p> <p>岩浅農也『『学習する集団』の形成と個別学習の関連』</p> <p>〔「学習する集団」の形成と授業における教師の指導〕</p> <p>天野文雄「学習規律の育成と学習不参加児への指導」</p> <p>渡部茂樹「学習秩序の形成と学習妨害児への指導」</p> <p>山形鼎「集団思考の育成と学習意欲のない子への指導」</p> <p>川村寿計雄「集団討議の活発化と学級のふんいきづくり」</p> <p>〔「学習する集団」の形成と学習ルールの指導〕</p> <p>長沢昭治「学級全員を意識した発言のさせ方」</p> <p>近藤和史「学級全員の関心を高める発表のさせ方」</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	岩佐勝文「学級全員で解決する疑問の出させ方」 宮本茂登一「学級全員で思考するつまずきの扱い方」 〔授業を「学習する集団」に高める指導計画と方法〕 日塔二三雄「国語授業と『学習する集団』への指導方法」 山崎武「社会科授業と『学習する集団』への指導方法」 市岡正憲「算数授業と『学習する集団』への指導方法」 後藤田明孝「理科授業と『学習する集団』への指導方法」
5	吉本均『現代授業集団の構造』明治図書 I 現代学校における教育改造 II 授業過程の基本構造 III 授業集団の組織化 IV 授業展開の指導原理 V 学級経営と授業過程 VI 現代教授理論の背景と課題
5	鈴木秀一「生活・集団・教材を基軸とした授業研究—私たちの歴史—」(『現代教育科学』151号)
5	「特集・全員参加をめざす一斉授業の改造」(『授業研究』80号) 砂沢喜代次「子どもの組織化を中心に」 恒吉宏典「民主的な学級集団の構造への脱皮を」
6	「特集・学習課題を共通化する集団討議指導」(『授業研究』81号) 倉橋マツエ「発言の訓練と発表の聞き方指導」 阿部繁治「集団討議を打ち切るタイミング」 首藤昭五「討議の結果の集約のしかた」
7	小川太郎「集団主義教育と学習集団」(『新英語教育』52号)
8	鈴木秀一「書評・大西忠治著『国語授業と集団の指導』」(『教育科学・国語教育』142号)
9	「〔特集〕学習集団をどう組織するか」(『技術教室』70.9) 佐藤禎一「学習集団の研究に目を向けよう」 保泉信二「学習協同から学んだもの」 朝倉達夫「技術家庭科の学習集団づくり」 杉原博子「集団裁断と集団づくり」
10	吉本均「最近の研究授業の動向と問題点—学習集団の組織化と発問の組織化に視点を—」(『授業研究』85号)
10	全生研埼玉支部常任委員会「実践／学級集団と国語の授業」(『生活指導』146号) 全生研埼玉支部「分析／学級集団と国語の授業」の検討(同上) 山下道也「書評／大西忠治著『国語授業と集団の指導』」(同上)
11	宮坂義彦「書評／吉本均著『現代授業集団の構造』」(『生活指導』147号)
12	砂沢喜代次「授業過程における子どもの発言」(『児童心理』289号)
71. 1	古賀佐徳「実践提案／授業をもりあげる学習集団体制」(『授業研究』88号)
2	吉本均編『学習集団づくり・小学校低学年』明治図書

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	I 学習集団創造の課題とは何か (吉本均) II 学習要求をどう育てるか (片山清子・坂田妙子) III 全員発言・全員参加をどう保障するか (細美田鶴枝・広沢綾子・市川光子) IV 自主連帯の学習規律をどう育てるか (山際節子) V 小集団をどう活用するか (長谷川小夜子) VI 集団思考=討議をどう組織するか (阿部繁治ほか) VII 学習目的をどう自覚させるか (式部覚)
	吉本均編『学習集団づくり・小学校中学年』明治図書
	I 学習集団を創造する教師の指導性とは何か (吉本均) II 学習要求をどう育てるか (早田修三・野崎坦良・神代克秀) III 全員発言・全員参加をどう保障するか (市岡正憲) IV 自主連帯の学習規律をどう育てるか (後藤昌宏) V 小集団をどう活用するか (早田修三・原エイ) VI 集団思考=討議をどう組織するか (久保田澄) VII 学習目的をどう自覚させるか (細美田鶴枝・大谷忠文・川本憲治)
	吉本均編『学習集団づくり・小学校高学年』明治図書
	I 学習集団の組織化とは何か (吉本均) II 学習要求をどう育てるか (波多野佳子) III 全員発言・全員参加をどう保障するか (岡山直和) IV 自主連帯の学習規律をどう育てるか (川崎千足) V 小集団をどう活用するか (大脇一二) VI 集団思考=討議をどう組織するか (加来宣幸) VII 学習目的をどう自覚させるか (野崎坦良)
	吉本均『学習集団づくり・中学校』明治図書
	一章 学習集団の組織化とは何か (吉本均) 二章 学習要求をどう育てるか (首藤昭五) 三章 全員発言・全員参加をどう保障するか (空辰男) 四章 自主連帯の学習規律をどう育てるか (淵上和俊) 五章 小集団をどう活用するか (番城昌宏) 六章 集団思考=討議をどう組織するか (石田明) 七章 学習目的をどう自覚させるか (大下久夫)
2	佐藤正夫「学習過程を構造化する集団過程研究法」(『授業研究』89号)
2	佐藤正夫「教授過程の改善と学習集団の組織化」(『学校教育』640号)
2	須藤猛「授業『大きなかぶ』について」(『生活指導』151号)
	香生研指導部「『大きなかぶ』の作品と授業分析」(同上)
3	北林正「学習集団と学習意欲 I～Ⅷ」(『生活指導』152～160号、71.3～11)
4	須藤猛「長編実践記録/教材研究と学習集団の指導1～4」(『生活指導』153～156号、71.4～7)
4	恒吉宏典「書評・吉本均著『現代授業集団の構造』」(『授業研究』91号)
4	現代学級経営研究会『現代/学習集団づくり入門Ⅱ(発問)』東方出版

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>序章 「伝達の教室」から「探究の教室」へ（吉本均）</p> <p>第1章 子どもを“問う権利”の主体に（番城昌弘）</p> <p>第2章 発問の構造（山下政俊・豊田久亀・桑原昭徳・岩垣撰）</p> <p>第3章 学習集団づくりと発問</p> <p>一 授業への全員参加と発問（山中隆治）</p> <p>二 学習規律を生み出す発問（倉橋マツエ）</p> <p>三 小集団学習と発問（細美田鶴枝）</p> <p>四 集団思考の組織化と発問（細美田鶴枝）</p> <p>五 学習課題の自覚と発問（高杉麗子）</p> <p>第4章 子どもの全存在に切りむすぶ発問</p> <p>一 教科、教材の本質を追究する発問（天野文雄）</p> <p>二 子どもの情動をゆり動かす発問（天野文雄）</p> <p>三 子どもの生活に切りむすぶ発問（義志博子）</p> <p>四 子どものほんねを掘りおこす発問（山下美江子）</p> <p>後章 教師集団づくりと発問（川崎芳彦）</p>
7	大西忠治「書評・吉本均編『学習集団づくり・全4巻』」（『授業研究』94号）
7	大槻和夫「『学習集団の組織化』論の基本的前提について」（『学校教育』645号）
	山本貞美「体育における学習集団の組織化」（同上）
8	<p>砂沢喜代次編『講座・授業と集団思考』（全5巻）明治図書</p> <p>第1巻 集団思考の教育原理</p> <p>I 集団思考の教育的意義（砂沢喜代次）</p> <p>II 子どもの認識発達と集団思考（石川正和）</p> <p>IV 教授・学習過程と集団思考</p> <p>一 教授・学習過程と「集団・思考過程」（斎藤浩志）</p> <p>二 教授・学習過程の構造と集団思考のあり方（佐藤正夫）</p> <p>V 集団思考の構造分析</p> <p>二 集団主義的思考の分析（杉山明男）</p> <p>VI 集団思考の教育実践史（小田切正）</p> <p>第2巻 集団思考と授業集団</p> <p>I 集団構造の発達段階と集団思考（吉本均・岩垣撰）</p> <p>II 授業の集団化過程と集団思考（宮坂義彦）</p> <p>III 集団思考の形態と集団思考</p> <p>一 小学校低学年（加来宣幸）</p> <p>二 小学校中学年（曾根康二）</p> <p>三 小学校高学年</p> <p>国語科の授業（高橋基司）</p> <p>理科の授業（林浩二）</p> <p>四 中学校（塩本俊夫）</p> <p>五 分析（砂沢喜代次）</p> <p>第3巻 集団思考と教材の構造</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>I 集団思考と教材の構造 (鈴木秀一・高村泰雄)</p> <p>II 集団づくりの教材の構造分析 (杉山明男)</p> <p>III 認識の発達と共通課題の成立 (宇佐美寛)</p> <p>IV 教材と集団思考過程の分析</p> <p>一 小学校／知識習得過程における集団思考 (小松善之助)</p> <p>二 中学校／知識習得過程における集団思考 (岩浅豊也)</p> <p>三 小学校／技能習得過程における集団思考 (長谷川康吉)</p> <p>四 中学校／技能習得過程における集団思考 (林野滋樹)</p> <p>五 小学校／情操習得過程における集団思考 (鳥居光)</p> <p>六 中学校／情操習得過程における集団思考 (千成俊夫・阿部俊昭)</p> <p>第4巻 集団思考と授業過程</p> <p>II 集団思考を促す発問構成 (阿部文男)</p> <p>III 子どもの発言の組織化 (渋谷俊雄・大西忠治)</p> <p>IV 集団思考の山場をどうつくるか</p> <p>一 国語科授業 (小学校) において (神代克彦)</p> <p>二 国語科授業 (中学校) において (前沢泰)</p> <p>三 社会科授業 (小学校) において (本間昇)</p> <p>四 社会科授業 (中学校) において (市川真一)</p> <p>五 算数科授業 (小学校) において (市岡正憲)</p> <p>六 数学科授業 (中学校) において (榊忠男)</p> <p>七 理科授業 (小学校) において (青野弘)</p> <p>八 理科授業 (中学校) において (大場裕)</p> <p>第5巻 訓育過程と集団思考</p> <p>I 集団思考の訓育的意義 (大橋精夫)</p> <p>II 子どもの生活意識と集団思考 (熊谷和夫)</p> <p>III 学級集団の形成と集団思考 (白井悞)</p> <p>IV 集団思考と価値観の形成</p> <p>一 小学校の場合 (黒藪次男)</p> <p>二 中学校の場合 (佐々木富衛)</p> <p>三 高校の場合 (小嶋昭道)</p> <p>四 分析 (恒吉宏典)</p> <p>V 学校における集団思考の発展 (小川太郎)</p> <p>VI 集団思考による教師と子どもの変革</p> <p>一 小学校の場合 (吉田六太郎)</p> <p>二 中学校の場合 (辻多喜雄)</p>
8	<p>坂本泰造「学習集団へのアプローチ」(『生活指導』157～160号、71.8～11)</p> <p>1 学習集団へのアプローチ(1) -学習秩序・スタイルをめぐる- (71.8)</p> <p>2 学習集団へのアプローチ(2) -学習秩序・スタイルをめぐる- (71.9)</p> <p>3 学習集団へのアプローチ(3) -学習のリーダーに何を教えるか- (71.10)</p> <p>4 学習集団へのアプローチ(4) -学習のリーダーに何を教えるか- (71.11)</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
9	全生研常任委員会『学級集団づくり入門・第2版』明治図書 第V章 教科指導と学習集団の指導 一 授業における訓育のありかた 二 学習集団の指導と自己指導
9	海崎義隆「書評／吉本均編『学習集団づくり(全4巻)』」(『生活指導』158号)
9	「特集・授業における集団思考過程の研究」(『現代教育科学』167号) 砂沢喜代次「集団思考研究の総括と展望」 小田切正「集団思考過程と学習集団研究」 岩浅農也「集団思考過程と教材研究」 杉山明男「集団思考過程と指導過程研究」 川上信夫「集団思考過程と訓育過程研究」 高旗正人「授業における集団思考過程研究の問題」 三上敏夫「小学校における集団思考訓練」 大西忠治「中学校における集団思考訓練」 山本洋幸「高校における集団思考訓練」 高桑康雄「教育のシステム化と集団思考の可能性」 霜田一敏「一斉授業における個人思考と集団思考」 蜂屋慶「小集団の集団討議と集団思考」 首藤昭五「学級集団づくりと集団思考」 倉橋マツエ「授業の組織化と集団思考」
11	「連載・学習集団の指導と管理」(『現代教育科学』169～181号) 1 教師の指導性の明確化(大西忠治)(71.11) 2 「学級」と「学習集団」(大西忠治)(71.12) 3 「学習集団」と「学級づくり」(大西忠治)(72.1) 4 学習集団と生活集団(大西忠治)(72.2) 5 学習集団における指導と管理の二重化(大西忠治)(72.3) 6 「学習」の集団的性格(大西忠治)(72.5) 7 生産労働の意味を教える学習集団(大西忠治)(72.6) 8 学習集団についての二つの流派(大西忠治)(72.7) 9 教育のロマンチズムからの脱却(大西忠治)(72.8) 10 「集団思考」について(大西忠治)(72.9) 11 「学習集団の指導と管理」をめぐって(竹内常一)(72.10) 12 学習集団研究の課題(大西忠治)(72.11) 13 授業における「伝達」と「自己活動」(吉本均)(72.12) 14 授業における訓育の機能(吉本均)(73.1) 15 集団思考過程と学習集団の機能(岩垣撰)(73.2) 16 「学習集団」の研究とは何か(吉本均)(73.3)
12	「特集・各教科における学習集団の問題」(『生活指導』162号) 竹内常一「学習集団をなぜ問題にするか」 家本芳郎「生活班か、学習班か」

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
12	<p>大森弘志「国語の授業における学習集団の成立」 竹内静代「英語の授業における学習集団の成立」 秋田大三郎「体育の授業における学習集団の成立」 菅原武夫「音楽の授業における学習集団の成立」 田中敏夫「分析・学習集団をどう組織するか」 川合章「授業をつうじての集団づくり」(『技術教室』71.12) 川辺克己「学習集団づくりの出発—学習班とリーダーについて—」(同上) 岩上勝「技術家庭科の学習指導と集団づくり」(同上) 盛田百々代「集団思考をとり入れた学習指導」(同上)</p>
72. 1	砂沢喜代次「集団思考の組織化に成功する授業」(『授業研究』100号)
2	<p>小田切正「学習『集団』の理論と実践—当面する課題をめぐって—」(日本教育方法学会編『教育方法5、教育方法学70年代の課題』明治図書) 藤田輝夫「学習指導と生活指導の統一—戦後教育実践記録分析の一試論—」(同上)</p>
2	<p>「学習集団の長編実践記録の分析」(『生活指導』164号) 前沢泰「北林さんの実践を読んで」 釈綱二「須藤さんの実践を読んで」 大畑佳司「坂本さんの実践を読んで」</p>
2	<p>木下春雄・竹内常一編『講座・高校生活指導、3、教科指導と生活指導』明治図書 I 授業と学力(鞠川了諦) II 高校生論(海保孝) III 実践記録 一 富山「三・七体制」打破への出発(浜田実) 二 自主教材授業と生徒の変化(武藤徹) 三 日刊「ほ—むる—む通信」による生活指導と「現代国語」の自主編成(依田文治) 四 社会科学認識と生活意識(新谷清之助) 五 集団のちからと授業変革(山下道也) 六 「基礎科学講座」の試み(山本洋幸)</p>
3	<p>現代学級経営研究会『学習集団とは何か』東方出版 1 理論と実践の統一を(川崎芳彦) 2 基本提案／学習集団とはなにか(吉本均) 3 問題提起／理論的、実践的な諸問題 4 協同討議 5 総括 (1) 学習集団と全員の学力の保障(高場昭次) (2) 学習集団論の本質と課題(吉本均)</p>
4	<p>吉本均「連載講座・学習集団の理論」(『特別活動研究』43～54号) 1 授業を学習集団として把えるということ(72.4) 2 全員の子どもに「わかる授業」とは何か(72.5)</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	3 自治的集団と学習集団 (72.6)
	4 認識過程と学習集団 (72.7)
	5 学習集団における教師の指導性とは何か (72.8)
	6 学習集団にとって「よい教材」とは何か (72.9)
	7 対話と討論と問答 (72.10)
	8 「問い」における専制主義と放任主義 (72.11)
	9 「接続詞」のある授業の指導 (72.12)
	10 続・「接続詞」のある授業の指導 (73.1)
	11 三つの集団観—学習集団と小集団主義— (73.2)
	12 学習権と学力の構造 (73.3)
5	「特集・授業と集団づくりをどう結びつけるか」(『現代教育科学』175号) 竹内常一「教科指導と生活指導の区別と関連—学習集団の指導と学級集団づくりの問題基盤—」 砂沢喜代次「集団思考を軸とする授業の組織化」 片岡徳雄「集団主義教育の集団づくりへの疑問」 吉本均「授業における陶冶過程と訓育過程—二つの機能の統一をめぐる—」 前沢泰「学習集団の管理と学習体制の確立」 宮坂義彦「授業における集団思考の成立条件」
5	「連載・教材分析・授業・学習集団」(『生活指導』167～175号、72.5～12) 1 榊井孝「授業の実質をつくりだすために」(167号) 3 能重真作「国語授業における学習集団の形成」(169号) 4 横川嘉範「授業で子どもとどう切り結んだか」(171号) 5 大出達雄「体育授業における学習集団の試み」(172号) 6 海崎義隆「『説明』と『問答』を中心とした授業」(173号) 前沢泰「分析／教材分析と指導過程について」(173号) 7 積鋼二「社会についての科学的認識を」(175号)
6	「特集・教科研究と学習集団」(『生活指導』168号) 竹内常一「学習集団の研究課題」 宮温「算数と学習集団」 今井義一「『算数と学習集団』の分析—教材について—」 田中敏夫「『算数と学習集団』の分析—学習集団について—」 石川正和「学習集団とは何か」
6	岩浅農也『社会科授業と集団の指導』明治図書
6	吉本均「協力をどう教えるか—『直接』の論理から『方法的思考』の論理—」(『学校教育』656号)
6	吉本均「『考えること』をみざす学級づくり」(『児童心理』307号)
7	「特集・小集団学習による集団思考の深化」(『授業研究』106号) 砂沢喜代次「小集団構造の再検討に立つ集団思考の組織化」 神代克彦「対立矛盾を意識させる教材提示の方法」 細美田鶴枝「小集団学習における板書のくふう点」

年 月	著書・論文	所収雑誌・出版社
	首藤昭五「リーダーの学習管理がルーズな場合とその対策」 家本芳郎「集団討議が形式的な場合とその対策」	
8	吉本均「学習集団と学習主体の成立」	(日本初等理科教育研究会『初等理科教育』6巻8号)
9	G・ショルツ (吉本均・岩垣撰訳)「授業における集団の作用」	(『現代教育科学』179号)
9	砂沢喜代次「授業の原理としての集団と個人」	(『教育研究』27巻9号)
10	吉本均「学習集団づくりと学図」	(『学校図書館』)
11	安芸市清水ヶ丘中グループ「授業における〈コミュニケーション〉」	(『生活指導』173号)
	高知県生研「清水ヶ丘グループ実践の分析」	(同上)
11	須藤猛「ひとりひとりが考える学習集団づくりの方法」	(『授業研究』110号)
12	高場昭次『学習集団をどうつくるか』	東方出版
73. 1	小池一清「学習集団づくりとは何か」	(『技術教室』73.1)
	熊谷穰一「学習集団づくりと授業実践」	(同上)
	遠藤洋子「学習集団づくりと学習形態」	(同上)
3	吉本均「『学習集団』の研究とはなにか」	(『現代教育科学』185号)
3	吉本均・大槻和夫・岩垣撰ほか「学習集団の研究」	(広島大学教育学部 学部・付属共同研究体制『研究紀要』第1号)
3	吉本均「『底辺からのストップ』のある授業」	(『現代教育科学』186号)
3	吉本均・諸岡康哉・織田豊「学習集団の創造(1) -学級集団におけるリーダーの育成」	(『学校教育』665号)
4	首藤昭五「中学校の自主的学習態度づくり」	(『授業研究』115号)
4	吉本均・現代学級経営研究会『新版・現代/学級集団づくり入門〈班づくり・リーダーづくり〉』	東方出版
	第一章 班づくり	
	第二章 リーダーづくり	
	第三章 学級会づくり	
	第四章 学習集団と班・リーダー	
5	「特集・わかる授業をどう組織するか」	(『現代教育科学』187号)
	全国授業研究協議会諫早サークル「提案・わかる授業をどう組織するか」	
	〈提案に対する意見〉	
	柴田義松「教師自身がまず『わかる』こと」	
	岩浅農也「まず教材研究こそ」	
	鈴木秀一「三つの視点のいっそうの深化を」	
6	現代学級経営研究会『学習集団づくりと学校経営』	東方出版
6	吉本均「『考えさせる』ことの教育的意義とその動機づけ」	(『児童心理』319号)
7	阿原成光・城丸章夫・能重真作・本多公栄・前沢泰「〔座談会〕知的訓練と学習集団」	(『生活指導』182号)
7	吉本均「学習集団における発問の役割」	(『学校教育』669号)
7	高場昭次「連載講座、同和教育と集団づくり(1)～(3)」	(『学校教育』669～671号)

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
8	吉本均「学習集団の中から生まれる『ひとり学習』を」(『授業研究』119号)
8	大槻和夫「学習集団づくりと学習内容－真の学習の成立をめざして－」(『学校教育』670号)
8	小池一清「学習集団づくりをどう受けとめどう実践したらよいか」(『技術教室』73.8)
9	「特集・授業における「訓育」の独自性とは何か」(『現代教育科学』191号) 城丸章夫「授業における『訓育』の本質と可能性」 春田正治「訓育的教授と教科内容の科学性・系統性」 吉本均「学習集団の指導とは何か」
9	中村敏雄・出原泰明「『集団マツト運動』の実践」(『体育科教育』21巻10号)
10	吉本均「学習条件としてのグループ」(『教育心理研究』55号、明治図書)
12	吉本均「学級集団づくりと学習主体の形成」(『学校教育』674号) 桑原昭徳「学級の歴史の創造主体としての学習集団」(同上)
74. 1	諫早市真津山小学校『問い、追求する子を育てる授業の創造』
1	恒吉宏典「個の伸長と弁証法的発達観」(『学校教育』675号)
2	桑原昭徳「授業過程における教師の評価活動について」(『学校教育』676号)
2	竹内常一編『高校の授業と集団づくり』明治図書 I 高校授業と集団の指導(竹内常一) II 高校の授業と集団づくりの記録 一 生きている証をつかむために(杉浦慶之助) 二 授業成立の条件を求めて(吉田尚司) 三 学習意欲の組織化のために(山崎鶴雄・黒田紀夫・岩田好弘) 四 小集団を基にした授業の実践(浅井哲史) 五 集団づくりをめざす外国語学習(田中安行) 解説(竹内常一)
3	佐藤正夫「授業における学力の形成と学習集団」(『学校教育』677号)
3	吉本均・大槻和夫・今石光美ほか「発問と集団思考」(広島大学教育学部 学部・付属共同研究体制『研究紀要』第2号)
4	吉本均・諫早授業研究サークル『わかる授業の探求』東方出版 I わかる授業をどう組織するか(野崎坦良・古賀佐徳) II 学習主体づくり(早田修三・野崎坦良) III 発問づくり(野崎坦良・野中チトヨ・石橋昇・原田浩二) IV 教材づくり(神代克彦・山田マサ子・早田修三) V “学習主体形成”と“発問の条件”(高田清・諸岡康哉)
4	吉本均『訓育的教授の理論』明治図書 I 授業における陶冶過程と訓育過程の統一 II 授業の成立と学級集団の質 III 学習集団の課題 IV 学習集団の指導過程 V 発問と集団思考

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>Ⅵ 教師の指導性と子どもの自己活動</p> <p>Ⅶ 教材と能力と学力</p> <p>Ⅷ 西ドイツにおける教授学研究の方法論</p>
4	<p>大槻和夫「『集団的・学習』から『学習集団の形成』へー教師の指導性についてー」(『学習教育』678号)</p> <p>桑原昭徳「教科活動と教科外の統一を」(同上)</p>
4	<p>「リレー討論／学習集団の方法論をめぐる諸問題」(『授業研究』127～140号)</p> <p>片岡徳雄「学習集団形成の諸問題ー集団主義的『集団づくり』への疑問ー」(74.4)</p> <p>八田昭平「集団の価値的とらえ方と機能的とらえ方について」(74.5)</p> <p>岸田元美「学習集団における集団思考の重視」(74.6)</p> <p>平沢泰三「教師の指導様式の変革を」(74.7)</p> <p>蜂屋慶「学習集団の方法を規定する条件を明確に」(74.8)</p> <p>藤田昌士「学習集団の意味限定をもとに」(74.9)</p> <p>宇佐美寛「学習集団を論ずるための論理」(74.10)</p> <p>駒林邦男「集団思考の組織化と指導の個別化」(74.11)</p> <p>石川正和「教育の基礎集団としての学級の確立を」(74.12)</p> <p>野崎坦良「学級の特質に対応する指導を」(75.1)</p>
4	<p>「連載・学習集団の課題」(『生活指導』192～217号)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 田中敏夫「学習集団の現状と問題点」(74.4) 2 田中敏夫「教材こそが授業を成立させるー遠山啓氏の授業を見てー」(74.5) 3 野口房子「社会科の場合」(74.6) 4 富田彬道「理科の授業の場合」(74.7) 5 樋田明「学習集団研究小委員会の報告」(74.9) 6 大出達雄「バレーボールの授業を通してー中学一年の場合ー」(74.10) 7 「小川未明『赤いろろそくと人魚』の授業」(74.11) 8 坂本泰造「豊かなイメージを求めてー詩・松谷みよ子『三日月』の授業ー」(75.1) 9 樹井孝「授業における『分裂・対立』『統一』の意味するものー教材・指導過程と学習集団の形成ー」(75.2) 10 鞠川了諦「授業と学習集団ー高校での実践を前提とした試論ー」(75.3) 11 樋田明「学習集団小委の報告」(75.4) 12 大森弘志「『杜子春』の授業を通して(1)」(75.5) 13 大森弘志「『杜子春』の授業を通して(2)」(75.6) 14 大畑佳司「“てぶくろをかいに”をめぐって」(76.7) 15 積綱二「『山芋』の授業」(75.9) 16 小野寺武男「複式学級の子どもとともに」(75.10) 17 春田正治「吉本理論を検討する(1)」(75.12) 18 春田正治「吉本理論を検討する(2)」(76.1) 19 能重真作「詩の授業ー大関松三郎『水』ー」(76.2) 20 樋田明「学習集団の課題・まとめ」(76.3)
5	<p>山下政俊・諸岡康哉「授業における認識過程研究」(日本教育方法学会編『教育方法6、</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>授業研究の課題と方法』明治図書) 「授業における学習集団の問題」(同上) 小川太郎「学習集団をめぐる問題」 春田正治「学習集団をめぐる」 仲原晶子「学習集団と知的能力の発達」 吉本均「認識過程と学習集団」</p>
5	<p>吉本均「学級集団の構造と集団思考の質」(『教育研究』74.5) 熊谷和夫「集団思考とは何か」(同上)</p>
5	<p>細美田鶴枝『学習集団による授業改造』東方出版</p>
6	<p>大西忠治「教材観と学習集団」(『教育科学・国語教育』192号)</p>
6	<p>吉本均「三つのイドラからの脱却」(『学校教育』680号) 諸岡康哉・高田清・今石光美「発問と集団思考」(同上) 切明悟「現代教育の問題点の探究—学習集団の創造—」(同上)</p>
7	<p>「特集・学習集団による『わかる授業』の組織化」(『学習集団研究』第1集、明治図書) 吉本均「『わかる授業』と学習集団の指導」 島根県隠岐郡中条小学校「探求的・発見的にわかり合う授業」 蔵田ハツエ「全員発言・全員参加による学習集団づくり」 野崎坦良「問い、追求する子どもと教師」 長崎県諫早市本野中学校「主体的学習をすすめる学習集団」 難波和美「学習集団づくりにおける班学習の研究」 宗村奎助「小さな教師、小さな研究者の育成」 石川正和「学習集団—その集団観の検討」 高田清「学習動機づけ理論の再検討」 広島大学教育方法学研究室「連載・全生研『学級集団づくり入門・第二版』の分析・批判1、学習集団における教師の指導性」 豊田久亀「学習集団における『学習』概念の検討」</p>
8	<p>前沢泰「学習集団を追求する今日の意味」(『生活指導』196号)</p>
8	<p>鈴木秀一「わが国の授業理論・その潮流を展望する」(『授業研究』132号) 石川正和「集団化の問題をどう考えるか」(同上)</p>
8	<p>城丸章夫「授業と民主主義」(『日本の民間教育』第3号)</p>
9	<p>佐藤正夫『訓育と生活指導の理論』明治図書 〔第一部 授業における訓育〕 I 訓育とは何か(佐藤正夫) II 授業における訓育(佐藤正夫) III 教材と訓育 一 教材のもつ訓育力(杉山明男) 二 社会科と訓育(杉山明男) 三 人文的学科(言語・文学)と訓育(大槻和夫) 四 数学・自然科学と訓育(熊谷和夫) 五 体育科と訓育(小林一久)</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>IV 教科の教授と価値観・世界観の形成</p> <p>一 価値観・世界観の本質 (西勇)</p> <p>二 世界観・確信と各教科の教授とのかかわりあい (小川太郎)</p> <p>V 学習集団づくりと人格形成 (吉本均・豊田久亀)</p> <p>10 大槻和夫「授業の組織化と発問—武田常夫氏の実践に学ぶ—」(『学校教育』684号)</p> <p>10 桑原昭徳「子どもを立ち向かわせる発問—否定する発問への着目—」(同上)</p> <p>11 高田清「学級の集団化・どこがどう違うか」(『授業研究』135号)</p> <p>11 「特集・学習集団における競争と連帯」(『学習集団研究』第2集、明治図書)</p> <p>吉本均「学習集団における競争とは何か」</p> <p>桑原昭徳「低学年段階における競争と連帯」</p> <p>早田修三「低学年段階における『班づくり』」</p> <p>土居タツエ「中学年段階における競争と連帯」</p> <p>藤宗猷彦「高学年段階における競争と連帯」</p> <p>児玉晴子「集団の連帯と援助のもとに」</p> <p>高知県安芸市立清水が丘中学校「授業における班競争」</p> <p>授業研究諫早サークル「合評『学習集団研究』第1集への提言」</p> <p>野崎坦良「学習規律と学習集団」</p> <p>井田薫「人格発達における弁証法的法則性」</p> <p>広島大学教育方法学研究室「連載／全生研『学級集団づくり入門・第2版』の分析・検討2、自治的集団づくりと学習集団の指導」</p> <p>恒吉宏典「『学級教授組織』の原理と思想」</p> <p>12 吉本均「『認識』の問題と学習集団の指導」(『生活指導』200号)</p>
75. 1	<p>「特集・授業と民主主義」(『高校生活指導』28号、明治図書)</p> <p>鞠川了諦「学習集団とは何か」</p> <p>竹内常一「授業における民主主義」</p> <p>川辺恵「授業実践＝国語」</p> <p>「〔座談会〕授業と学習集団の指導—川辺恵氏の授業実践をめぐって—」</p> <p>〔実践記録／授業と学習集団〕</p> <p>寺島隆吉「『わからない』をどう組織したか」</p> <p>日向康「知的興奮はつくれたか」</p> <p>1 桑原昭徳「意欲的にとりくめる社会科学習を求めて」(『学校教育』687号)</p> <p>2 恒吉宏典「『学習の権利』としての授業」(『学校教育』688号)</p> <p>桑原昭徳「学習集団づくりの実践的指標とそのプロフィール」(同上)</p> <p>吉本均「『ゆさぶり』ということ—学習集団指導のために—」(同上)</p> <p>2 吉本均編『学習集団としての授業』明治図書</p> <p>第I章 「わかる授業」の探究 (吉本均・小野弘男・伊藤成男・堀之内修)</p> <p>第II章 学習集団を育てる「よい教材」とは何か (山田まさ子・山崎朝幸)</p> <p>第III章 教材にきり結ぶ発問はどうあるべきか (原田浩二)</p> <p>第IV章 生活にきり結ぶ発問はどうあるべきか (原田浩二)</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	第Ⅴ章 集団思考をもちあげる発問系列はどうあるべきか (原田浩二・野崎坦良) 第Ⅵ章 集団思考の山場をどうつくるか (早田修三) 第Ⅶ章 知識習得と集団的感動をどう結びつけるか (藤瀬宏平・寿柳展) 第Ⅷ章 「知識と実生活との結合」をどうすすめるか (細美田鶴枝) 第Ⅸ章 学習集団創造と教育集団 (野崎坦良)
3	吉本均「主体的に学習にとりくむ学習集団づくり (解説)」(『授業研究』140号)
3	吉本均「授業を総括する」(『生活指導』204号)
3	吉本均・大槻和夫・小川利雄ほか「学習集団の指導とその指導過程」(広島大学教育学部 学部・付属共同研究体制『研究紀要』第3号)
4	吉本均「連載講座・授業と集団の論理」(『授業研究』141～153号) <ol style="list-style-type: none"> 1 学級をどうとらえるか (75.4) 2 全員のやる気を育てる学習集団の指導 (75.5) 3 学級集団づくりは授業をどう変えるか (75.6) 4 授業とはなにか (75.7) 5 授業における教師の指導性とはなにか (75.8) 6 媒介的指導とはなにか (75.9) 7 授業において教師が「立場をとる」こと (75.10) 8 「発問による指さし」とはなにか (75.11) 9 発問とレトリックの論理 (75.12) 10 思考の対立とその統一 (76.1) 11 授業における陶冶と訓育の論理 (76.2) 12 授業の弁証法 (76.3)
5	吉本均・高田清「集団思考のあり方—授業におけるKJ法の可能性にふれて—」(『学校教育』691号)
5	「特集・非行と学力不振」(『高校生活指導』29号) [実践記録/おちこぼれをださない教育実践] 高田剣「全員参加と赤点追放をめざして」 対馬文夫「義雄を集団に組み入れるとくみ」 佐久間憲司「数学の学力別展開授業による基礎学力回復」 三宅勝彦・村上尚孝「『八十点合格テスト』と『担任班』」
6	H・クライン (吉本均・寺尾慎一訳)「授業における統一と分化・個別化の問題」(『現代教育科学』213号)
6	吉本均・広島大学教育方法学研究室『現代学習集団の構造』東方出版 はじめに—学習集団の本質を求めて— (吉本均) <第一部> 理論編 <ol style="list-style-type: none"> I 授業をどうとらえるか (藤原幸男・折出健二) II 授業をどうつくりだすか (高田清・上野ひろ美・寺尾慎一) III 集団の学力とはなにか (吉本均) <第二部> 実践編 (阿部好策・諸岡康哉)
6	吉本均「学習集団研究の展望と課題」(『教育方法研究年鑑・75年版』明治図書)

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
6	<p>「特集・集団思考を組織する『問いかけ』の方法」(『学習集団研究』第3集、明治図書)</p> <p>吉本均「集団思考を組織する教育的意義」</p> <p>桑原昭徳「『問い』による思考の組織化」</p> <p>桑田秀寿「低学年段階における『問いかけ』の方法」</p> <p>大園隆久「中学年段階における『問いかけ』の方法」</p> <p>加来宣幸「高学年段階における『問いかけ』の方法」</p> <p>土佐清水市学習集団研究会「中学校段階における『問いかけ』の方法」</p> <p>広島県世羅郡世羅西中学校「わかる授業をつくり出す発問」</p> <p>〈私の学習集団観〉</p> <p>烏兎沼宏之「まず、ひとり調べの力を」</p> <p>横川嘉範「『わかる』『わからない』ということ」</p> <p>三上敏夫「学級集団＝学習集団でよい」</p> <p>須藤猛「読み方指導における学習訓練の問題」</p> <p>山下道也「異質な知的空間を」</p> <p>大西忠治「学習集団の研究課題」</p> <p>土佐清水市学習集団づくり研究会「合評『学習集団における競争と連帯』を読んで」</p> <p>諸岡康哉「現代教授学の構造」</p> <p>岸光城「ブルナーにおける学習意欲論の検討」</p>
7	<p>吉本均「発問と『集団』の研究－日常的な自主的教育実践として－」(『授業研究』145号)</p>
7	<p>吉本均・折出健二「学習集団創造における教師の指導性」(『学校教育』693号)</p> <p>桑原昭徳「『学級のれきしづくり』の思想とその実践」(同上)</p>
8	<p>吉本均「学習集団の創造と教師の役割」(『学校教育』694号)</p>
8	<p>熊谷穰重「技術教育・家庭科教育と学習集団づくりの歩みと課題」(『技術教室』75.8)</p>
8	<p>砂沢喜代次「『がんばり』を育てる授業」(『教育研究』30巻8号)</p>
9	<p>全生研編『学年別・学級集団づくりのすじみち』(全9巻) 明治図書</p> <p>須藤猛「国語科における学習集団の形成」(『小学1年』)</p> <p>青柳隆「かさの学習」(『小学2年』)</p> <p>宮温「重さの指導」(『小学3年』)</p> <p>服部潔「〇点ガキ大将『賢』の指導」(『小学4年』)</p> <p>坂本泰造「真理の追求を」(『小学5年』)</p> <p>大畑佳司「人間の学習を通して」(『小学6年』)</p> <p>竹内静代「集団の組織と教材」(『中学1年』)</p> <p>川辺克己「技術・家庭科における学習集団形成の試み」(『中学2年』)</p> <p>能重真作「授業と学習集団の指導(国語)」(『中学3年』)</p>
9	<p>川辺克己「技術科の授業1～4」(『生活指導』210～214号、75.9～75.12)</p>
9	<p>大槻和夫「集団を必要とする授業」(『学校教育』695号)</p>
9	<p>砂沢喜代次「勉強ぎらいの子の集団指導」(『児童心理』346号)</p>
9	<p>「特集・集団学習はどのような学力を育てるか」(『授業研究』147号)</p> <p>春田正治「学習における集団重視の方向への疑問」</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
10	熊谷和夫「集団思考をどう組織化するか」 吉本均「能力差と学習集団」(全国高等学校長協会・高校教育研究会編『高校教育』8巻12号、学事出版)
10	吉本均編『集団思考の成立とは何か』明治図書 吉本均「学習集団の指導と集団思考の成立」 折出健二「人格像と人格発達の弁証法的過程」 岩垣撰「子どもの訓育と集団思考の本質」 石川正和「子どもの発達と集団思考の本質」 阿部好策「レトリックの論理と集団思考の本質」 豊田久亀「子どもの学習と集団思考の本質」 山下政俊「教授＝学習過程と集団思考」 藤原幸男「知的能力の発達と集団思考」
11	「特集・学習集団にとってよい教材とは何か」(『学習集団研究』第4集、明治図書) 吉本均「学習集団にとってよい教材とは」 諫早市上山小学校「教材を選ぶ基本的視点」 坂巖「よい教材と授業の成立」 島山満枝「よい教材と学習集団づくり・低学年」 梶谷啓子「よい教材と学習集団づくり・中学年」 河中節恵「よい教材と学習集団づくり・高学年」 渡辺忠興「よい教材と学習集団づくり・中学校」 世良九州男「子供たちが集中する授業」 〈私の学習集団観〉 田倉圭市「学習集団を成立させる基礎的仕事を」 大畑佳司「教科内容に対応した学習形態の追究」 長根直幸「わからせる誇りを」 寺島隆吉「学習集団をどのように分裂させるか」 西平正喜「集団的知的硬教育をめざす授業」 榊井孝「学習集団の研究課題－技術主義・操作主義の克服のために－」 折出健二・上野ひろ美・藤原幸男「授業における訓育の構造－R・ルドルフを中心にして－」 阿部好策「授業におけるコトバの問題」 学習集団づくり糸島の会「合評『集団思考を組織する問いかけの方法』を読んで」
11	桑原昭徳「学習集団づくりのための教育研究(1)」(『学校教育』697号)
11	「特集・学習集団の今日的課題」(『生活指導』212号) 竹内常一「学習集団の指導の研究をめぐって」 大西忠治「授業における討論」 〔実践記録・学習集団の今日的課題〕 木藤仁視「授業における討論をどう導き出したか－算数の授業を通して－」 家本芳郎「群読の指導」
12	春田正治「学習集団の課題、17、吉本理論を検討する(1)」(『生活指導』214号)

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
12	桑原昭徳『「付属小学校のれきし」の授業の計画と実際』(『学校教育』698号)
76. 1	春田正治「学習集団の課題、18、吉本理論を検討する(2)」(『生活指導』215号)
1	桑原昭徳「授業における集団の指導とは何かー6年理科『物の燃えかた』の授業から学ぶー」(『学校教育』699号)
1	大西忠治「集団学習の方式をめぐる争点と課題」(『授業研究』151号)
1	「小特集・授業と学習集団」(『高校生活指導』32号) 遠山親雄「学習スタイルの問題ー授業と学習集団の指導をめぐるー」 荒牧ツネ子・山下道也「往復書簡／授業と学習集団をめぐる」 進藤省次郎「体育における学習集団の指導」 渡辺俊治「商業教育における実践的学習」 高生研・基調提案小委員会「学習集団の指導を追求する」
2	野崎坦良『わかりあう授業』明治図書
2	「特集・授業を『学習集団』として改造する」(『現代教育科学』223号) 吉本均「学習集団の指導とは何か」 浅野誠「授業における陶冶の確立と訓育の問題」 磯田一雄「学習集団論ー授業と生活指導の接点」 野崎坦良「感動をこめてわかりあう授業」 前沢泰「学習集団をどう育てるか」 〈授業を「学習集団」として改造していくための条件ー自主・共同の学習規律づくりと集団思考の組織化ー〉 坂本泰造「教科・教材に結合した学習集団の指導を」 中村春利「評価しつづけ、発問しつづける」 首藤昭五「学習規律づくりからの学習内容の追求」 寺島隆吉「学習秩序と集団思考を生み出す競争・論争」 豊田久亀「ストップ発言の質的發展を」
2	川辺克己「集団づくりをなぜ大切にするのか」(『技術教室』76.2) 大谷良光「班討論によってゆさぶりをかける授業」(同上) 風間延夫「班でとりくんだ『花だん作り』ー集団づくりの実践ー」(同上) 平野幸司「1年生は機械的にわりあて2年生は自主的に組ませる集団づくり」(同上) 山下勲「主体的に活動するグループ学習ー2年電気・報知機の指導例よりー」(同上) 熊谷稔重・佐藤禎一・向山玉雄・竹内常一・保泉信二「〔座談会〕授業における集団の管理と指導」(同上) 小林利夫「学習集団づくりの第一歩ーその問題点ー」(同上)
2	佐伯正一「個と集団の問題ー教授=学習論を中心にしてー」(『教育研究』31巻2号)
3	吉本均「学習集団の指導過程を」(『生活指導』217号)
3	桑原昭徳「授業における集団の指導とは何か(2)ー『指導的評価』または『評価を通した指導』についてー」(『学校教育』701号) 吉本均「学習集団の質的發展のために」(同上)
3	寺島隆吉『学習集団形成のすじみち』明治図書

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
4	河中節恵『学習集団による国語（文学教材）の授業』東方出版
4	「特集・授業成立の条件とは何か」（『現代教育科学』225号） 坂本泰造「集団を必要とする授業展開」 石川正和「発達を組織する授業の創造を」
4	吉本均ほか「連載講座・自治的集団の指導と学習集団の問題点」（『特別活動研究』95～107号、76.4～77.3） 1 主体形成の論理とはなにか（吉本均）（76.4） 2 学習集団をめぐる五つの争点（吉本均）（76.5） 3 集団思考の組織化（吉本均・折出健二）（76.6） 4 「科学的思考」としての集団思考（阿部好策）（76.7） 5 学習集団指導に関する一つの定跡（吉本均）（76.8） 6 「班への指名」と「班ノート」－その教育的意義（吉本均・小野拡男）（76.9） 7 授業における教育原理とはなにか（吉本均）（76.10） 8 9 統一的な授業－学習集団の思想を求めて－（吉本均・寺尾慎一）（76.12） 10 集団思考の陶冶・訓育的意義（吉本均・鈴木敏彦）（77.1） 11 学習能力の発達－学力像をめぐる－（吉本均）（77.2） 12 現代教授学の課題とはなにか（吉本均）（77.3）
4	吉本均「集団思考とは何か」（『学校教育』703号）
4	清水親義「『わかる』と『できる』をめざした国語の授業」（『高校生活指導』33号）
5	春田正治「両者の相違の根本にあるもの－吉本さんの反論を受けて－」（『生活指導』219号）
5	磯田一雄「教授学研究と生活指導研究の接点」（『現代教育科学』226～227号）
5	桑原昭徳「集団思考・集団活動の場をどうつくるか」（『授業研究』155号）
5	「連載・体育指導と学級集団」（『体育科教育』24巻5号～25巻10号） 1 岡田和雄「体育指導と学級集団のかかわり」（76.5） 2 岡田和雄「ハンドボールの学習の中から（その1）」（76.6） 3 岡田和雄「ハンドボールの学習の中から（その2）」（76.7） 4 平林宏美「四年二組のサッカー」（76.9） 5 小野繁・樋田京子・仁藤牧子・小嶋浜子「運動会のマスメームにとりくんで」（76.10） 6 平林宏美「野球大会優勝への道」（76.11） 7 千葉久雄「鉄棒・なわとび運動の学習から」（76.12） 8 岡田和雄「どこでバトンタッチしてもいいリレー」（77.3） 9 岡田和雄「どこでバトンタッチしてもいいリレー（その2）」（77.5） 10 小野繁「学年合同授業による水泳指導」（77.9） 11 岡田和雄・平林宏美「マット運動のおもしろさを追求する二つの実践（その1）」（77.10）
5	「特集・自主的学習の態度づくり」（『授業研究』156号） 早田修三「小学校高学年・学習のきまりづくり」

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	松尾健史「中学校・自主的態度を育てる社会科授業」
6	野崎坦良「学習集団における話し合い活動の方法」(『授業研究』157号)
6	吉本均「学習集団研究の展望と課題」(『教育方法研究年鑑・76年版』明治図書)
	石川正和「学習集団研究の総括と研究課題」(同上)
7	早田修三「国語科授業と学習集団研究の動向」(『教育科学・国語教育』221号)
7	竹内常一『教育への構図』高校生文化研究会
8	能重真作「学習集団の課題」(『生活指導』222号)
8	坂本泰造『学級の主人公は、ぼくらだ』明治図書
8	桑原昭徳「授業における班の活動とその指導」(『学校教育』707号)
8	「特集・学習集団における班活動とは何か」(『学習集団研究』第5集、明治図書)
	吉本均「授業において班活動を組織することの意義」
	大西忠治「授業における班活動と自治集団における班活動」
	諸岡康哉「授業における班活動と集団思考とのかかわり」
	高田清「授業における班での話し合い」
	諫早市上山小学校「低学年における班活動の組織化」
	細美田鶴枝「中学年における班活動の組織化」
	米崎忠「高学年における班活動の組織化」
	広島県山県郡芸北中学校「中学校における班活動の組織化」
	<私の学習集団観>
	川辺克己「班内から要求が出る学習集団を」
	中村勝彦「価値ある内容を全員が理解する集団に」
	海崎義隆「学習集団をどう指導しているか」
	岩崎忠夫「学習集団の成立の条件」
	細川了「学習集団の自己指導の確立を」
	島根県隠岐郡西郷町立中条小学校「合評・『学習集団にとってよい教材とは何か』を読んで」
	井田薫「授業における集団の役割と機能」
	岩垣撰「陶冶・訓育過程における学習集団の意義」
8	吉本均「学習集団と子どもの教材解釈力」(『授業研究』160号)
8	吉本均「学級づくりは授業をどう変えるか」(兵庫県立教育研修所編『兵庫教育』305号、兵庫県教育委員会)
8	桑原昭徳「授業における班の活動とその指導—全員参加の授業を組織するために—」(『学校教育』707号)
9	西郷竹彦・高場昭次・吉本均編『文芸理論と学習集団の接点』東方出版
	第一編 「あとかくしの雪」の授業(西郷竹彦・細美学級児童)
	第二編 文芸理論と学習集団論の接点
	第一章 発問と授業過程の組織化(広島大学教育方法学研究室)
	第二章 てい談=文芸理論と学習集団論の接点を探る(西郷竹彦・高場昭次・吉本均)
10	現代学級経営研究会『学習集団の発展段階』東方出版

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>第一部 基本提案</p> <p>基本提案〔1〕 学習集団の指導に関する七つの原則と一つの定跡（吉本均）</p> <p>基本提案〔2〕 学習集団形成の構造（折出健二・小野拓男・寺尾慎一）</p> <p>第二部 学習集団の「新段階」をどう考えるか〈パネル討議〉</p> <p>提案〔1〕 教師支配と物マネ集団づくりを排して（早田修三）</p> <p>提案〔2〕 全校の教師ぐるみで力量を高めあう（桑田秀寿）</p> <p>提案〔3〕 十数年来、新段階にとりこんできて（高杉麗子）</p> <p>提案〔4〕 評価の基準と原則（豊田久亀）</p> <p>提案〔5〕 学習規律をすっぱりとぬぐい去って（河中節恵）</p> <p>提案〔6〕 わかりきる学習主体をつくること（中村春利）</p> <p>第三部 教材解釈とはなにか〈全体討議Ⅰ〉</p> <p>学習集団の指導過程における教材解釈力（吉本均）</p> <p>第四部 教材解釈力をどう高めるか〈全体討議Ⅱ〉</p> <p>第五部 総括</p> <p>教科の本質に根ざした学習規律を（高場昭次）</p> <p>教材研究、教材解釈における四つの要点（川崎芳彦）</p>
10	<p>吉本均編『学習集団とは何か』明治図書</p> <p>Ⅰ章 学習集団の課題（吉本均）</p> <p>Ⅱ章 学習集団の指導（吉本均）</p> <p>Ⅲ章 学習集団における規律づくり（早田修三）</p> <p>Ⅳ章 学習集団における発問づくり（野崎坦良）</p> <p>Ⅴ章 学習集団における学力づくり（桑原昭徳）</p>
10	<p>「特集・学習集団をなぜ追求するか」（『生活指導』224号）</p> <p>竹内常一「教科指導と人格形成－歴史的検討」</p> <p>大畑佳司「学び方の指導をめぐる」</p> <p>〈実践記録・学び方をどう教えたか〉</p> <p>国土喬「国語授業における学び方の指導」</p> <p>小俣軍平「『みんなが泳げるように』をめざして」</p> <p>榊井孝「理科授業における学び方の指導」</p> <p>能重真作「分析・三氏の実践記録を読んで」</p>
10	<p>砂沢喜代次編『学習集団の思想と方法』明治図書</p> <p>砂沢喜代次「学習集団の思想と方法」</p> <p>小川太郎「学習集団のアクチュアルな問題」</p> <p>小田切正「国民統一と学習集団の思想－小川太郎氏を追悼して－」</p> <p>熊谷和夫「学習集団の形成」</p> <p>吉田六太郎「学習集団の思想と実践」</p> <p>仲田湛和「集団化に挑む授業－文学の授業をとおして－」</p> <p>春田正治「授業における学習集団の問題」</p> <p>岸田元美「授業研究における学習集団の吟味」</p> <p>高旗正人「学習集団の形成と評価」</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
10	<p>片岡徳雄・住岡英毅「学習集団と価値論」 砂沢喜代次「授業における認識過程と学習集団—吉本均『訓育的教授の理論』をめぐって—」 鈴木秀一「教授学研究の吉本理論の特質—『訓育的教授の理論』について—」 「特集・授業と学習リーダーをめぐる問題」(『授業研究』162号) 大槻和夫「国語科授業と学習リーダーの問題」 岩浅農也「社会科授業と学習リーダーの問題」 榊井孝「理科授業と学習リーダーの問題」 家本芳郎「班学習におけるリーダーのとらえ方」 寺島隆吉「学習リーダーをめぐる疑問点を解明する」 春田正治「自治的集団づくりと違う点の解明を」 児山正明「学習リーダーに対する教師の指導性の問題」</p>
10	<p>「特集・授業のイメージを変える」(『高校生活指導』35号) 〔実践記録／授業のイメージをどう変えるか〕 関直彦「『生徒の読み』を完結させるには」 奥侶英樹「『わかること』を中心にした国語の授業」 黒田紀夫「食品公害の班発表にとりくんで」 進藤省次郎「〔長編実践記録〕体育の授業と学習集団の指導」 〔進藤実践の分析〕 中村敏雄「技術学習と集団の高まり」 竹内常一「学習集団の指導の側面から」</p>
11	<p>岩垣撰「わかる授業とその訓育的作用」(『生活指導』225号)</p>
12	<p>「特集・わかる授業と学級づくり」(『特別活動研究』104号) 豊田久亀「考え合ってわかる授業」 野崎坦良「わかる授業づくりと学級集団の指導」 〔実践・わかる授業と学級づくりはどうかかわるか〕 佐藤大介「リーダーづくりと授業」 高橋フミ「子どもたちこそ教室の主人公」 首藤昭五「学級づくりと協力して『わかる授業』の創造へ」</p>
12	<p>吉本均「連載・落ちこぼれをなくす学習指導」(『教職研修』52～57号、教育開発研究所、76.12～77.5) 1 「自然のままの学級」とは (76.12) 2 「わからない」という声の出る学級経営 (77.2) 3 問いの専制主義と放任主義 (77.3) 4 集団思考の本質とは何か (77.4) 5 「無限の可能性」とは何か (77.5)</p>
12	<p>「特集・授業で集団思考が成立するとき」(『授業研究』164号) 熊谷和夫「学級の集団化をどう進めるか」 讃岐幸治「集団思考に適した授業形態とは」 岩崎弘美「集団思考に導く発問構成」</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
12	<p>山形英二「集団思考に高める発言の組織化」</p> <p>早田修三「集団思考を促す学習活動とは」</p> <p>深水吉春「集団思考に導く授業過程構成の手順」</p> <p>桑原昭徳「認識と練習の統一を」(『学校教育』712号)</p>
77. 1	高場昭次『わかる授業と学習主体の形成』東方出版
2	杉山明男『集団主義教育の理論』明治図書
2	前沢泰「授業における『わかる』『できる』の問題－学習集団の指導と関連して－」(『生活指導』229号)
2	鈴鹿市若松小『個の学習要求を育てる集団づくり』明治図書
2	海崎義隆「説明文指導における発問・説明(小)」(『教育科学・国語教育』229号)
3	吉本均『発問と集団思考の理論』明治図書 <ul style="list-style-type: none"> 一 学級集団と授業過程 二 授業の成立と媒介的指導 三 発問と集団思考 四 学習集団研究の展望と課題
3	吉本均ほか「学習行為の特性と学習集団」(広島大学教育学部 学部・付属共同研究体制『研究紀要』第4号)
3	吉本均『「つまずき」のなかで教材解釈力は育つ』(『授業研究』167号)
3	吉本均「新しい学力と学習集団の指導」(『学校教育』715号)
3	「〔特集〕技術教育における学習集団の形成」(『技術教育』296号) <ul style="list-style-type: none"> 平野幸司「学習集団づくりはどうあるべきか」 大谷良光「学習集団の指導のすじ道－全生研の成果に学ぶ－」 風間延夫「班学習ってすばらしい－技術科における学習集団づくり－」 向山玉雄「学級における集団づくりと技術における集団づくり」 伊藤健次郎「グループ学習指導の隘路」
4	岩垣撰編『新しい教育技術、2、授業の技術』日本標準 <ul style="list-style-type: none"> 一 授業の構成(吉本均) 二 授業の諸手法と授業展開 <ul style="list-style-type: none"> (1) 講義・説話(前沢泰) (2) 対話、問答、話しあい、討論(大畑佳司) (3) 作業(岩垣撰、延原肇・笠井守・笠井万代、相川日出雄、本間昇) (4) 身体活動の指導(隈部智雄・三浦弓杖) (5) 教材と諸手法の結合(岩垣撰) (6) 総括と評価(豊田久亀) 三 授業展開と子ども組織 <ul style="list-style-type: none"> (1) 授業と子どもの組織化(桑原昭徳) (2) 知的競争と助けあいの組織化(岩垣撰、高田清)
5	「特集・学習集団研究の争点を検討する」(『現代教育科学』240号) <p>杉山明男「学習集団の思想－科学と集団主義」</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>〈往復書簡〉</p> <p>春田正治「私たちの間にある根本的相違」</p> <p>吉本均「この問いかけでは理論に前進はない」</p> <p>〈学習集団をめぐる実践研究の課題〉</p> <p>坂本泰造「教科・教材内容研究の優先」</p> <p>野崎坦良「現場での正しい理解を」</p>
6	吉本均「学習集団研究の展望と課題」(『教育方法研究年鑑・77年版』明治図書)
6	<p>吉本均編『現代教授学』福村出版</p> <p>第一章 現代教授学の課題 (吉本均)</p> <p>第二章 授業と知的発達 (豊田久亀)</p> <p>第三章 授業と人格発達 (石川正和)</p> <p>第四章 教材の選択と配列 (諸岡康哉)</p> <p>第五章 教授=学習過程 (井田蕉)</p> <p>第六章 陶冶=訓育過程 (岩垣撰)</p> <p>第七章 集団思考の本質 (高田清)</p> <p>第八章 発問の本質 (山下政俊)</p> <p>第九章 授業の形態 (岸光城)</p> <p>第十章 教授工学 (中野和光)</p> <p>第十一章 訓育と生活指導 (三原征次)</p> <p>第十二章 人格発達と集団の指導 (豊田和子)</p> <p>第十三章 戦後における授業理論の発展 (太田悦生)</p> <p>第十四章 学習集団の課題 (恒吉宏典)</p>
6	<p>「特集・授業で育てる自主的学習活動」(『授業研究』170号)</p> <p>大園隆久「小学校高学年における自主的学習活動の指導」</p>
6	吉本均ほか「集団思考の組織化と教師の指導性」(広島大学教育学部 学部・付属共同研究体制『研究紀要』第5号)
6	<p>「特集・ひとりひとりの読みを生かす授業構造」(『教育科学・国語教育』229号)</p> <p>大槻和夫「読みを生かす授業の条件」</p> <p>早田修三「低学年段階の個を生かす読みの指導」</p> <p>海崎義隆「中学年段階の個を生かす読みの条件」</p>
7	野崎坦良『わかる授業と発問』明治図書
8	前沢泰「教科指導と人格形成」(『生活指導』235号)
8	<p>「特集・個と集団のひびきあいを生む授業」(『授業研究』173号)</p> <p>吉本均「『個のかかわり合い』を育てる指導とは何か」</p> <p>井田蕉「どんな集団指導の土台が必要か」</p> <p>桑原昭徳「どんな学習方法訓練をすればよいか」</p> <p>豊田久亀「個と集団のひびきあいからみた授業実践」</p>
9	<p>磯田一雄『教授学と生活指導』明治図書</p> <p>第一部 教授学と生活指導論の統一的把握をめぐる試論</p> <p>第二部 授業と生活指導をめぐる諸問題</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	<p>第四章 子どもの生活と授業 第五章 「学習集団」論の教授学的考察 第六章 授業における人間形成</p> <p>第三部 戦後教育改革におけるカリキュラムと生活指導</p>
10	折出健二「学習集団の質的発展」(『現代教育科学』247号)
10	石川正和「学習集団の教材解釈力をどう高めるか」(『授業研究』175号)
10	桑原昭徳「授業における自主性と媒介的指導」(『学校教育』723号)
11	折出健二「学習と集団」(『生活指導』238号)
11	「特集・感情的高ぶりをつくり出す授業」(『生活指導』238号) 前沢泰「学習と生活」 服部潔「わかるとはどういうことか」 〈実践記録・感情のゆさぶりをつくり出す授業〉 谷内博司「感情的高揚をつくり出す表現学習－図工の授業を通して－」 小林義明「形象の読みとりと学習集団－『山椒魚』の授業を通して－」 川辺克己「分析1・子どもの感想を手がかりに」 丸山武「分析2・感情的高揚をつくり出す授業とは」
11	「実践記録・英語の授業」(『高校生活指導』40号) 鈴木光治「英語の授業と学習集団」 寺島隆吉「英文法の授業と班の利用法」 淡路克浩「英語の授業とは何か」
12	山下政俊「授業方法について」(『生活指導』240号)
12	桑原昭徳「授業における訓育－算数と民主主義・集中力(その事例)－」(『学校教育』725号)
12	蔵田ハツエ「小学校中学年における学習作業化の進め方」(『授業研究』177号)
78. 1	広島県世羅西中学校『中学校の学習集団づくり』明治図書
1	桑原昭徳「学級には歴史がある(5年)－学級のれきしづくり－」(『学校教育』726号)
1	「小特集・授業をどうつくりかえるか」(『高校生活指導』41号) 山下道也「教師にとって授業とは何か」 仁藤彰・鈴木あぐ里・相原秀志・町井弘明・淡路克浩「〔座談会〕山下氏の提起にどうこたえるか」 小川満里子「〔実践記録〕学校って楽しいねークラスが作り出した学習への意欲ー」 鞠川了諦「『学力の荒廃に挑む』学習主体の形成」 寺島隆吉「授業の分析と『予習プリント』－淡路氏の批判に答えて－」
2	海崎義隆「大西忠治氏の授業公開をめぐって」(『教育科学・国語教育』243号)
2	「〔特集〕学習集団を考える」(『技術教室』78.2) 諏訪義英「技術教育と学習集団－産教連の歩みをたどる－」 川辺克己・杉原博子・平野幸司・保泉信二・植村千枝「〔座談会〕学習集団の筋道を探り今後のいかし方を考える」(同上) 萩原満恵「ミシンがみんな踏めるようになった班学習」

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
3	日本教育方法学会編『教育方法、9、現代訓育理論の探究』明治図書 砂沢喜代次「学校教育の荒廃と授業の復権」 杉山明男「教科指導における訓育作用」 吉本均「授業における集団思考・表現過程の指導」 鈴木敏彦「授業における訓育の研究動向」 上野ひろ美「授業における訓育をめぐる諸問題」
3	吉本均・大槻和夫ほか「思考の誘発と組織化に関する『教授行為』の分析」(広島大学 教育学部 学部・付属共同研究体制『研究紀要』第6号)
3	「特集・教材解釈の競い合いと共感」(『学習集団研究』第6集) 吉本均「教材解釈をめぐる競い合いと共感」 大槻和夫「教材解釈力の訓練－文学の授業の場合－」 〈実践報告〉 藤田敏次「教材解釈の競い合いと共感－低学年－」 伊藤成男「教材解釈の競い合いと共感－中学年－」 呉市本通小学校「教材解釈の競い合いと共感－高学年－」 広島県世羅郡世羅西中学校「教材解釈の競い合いと共感－中学校－」 竹田綾子「教材解釈の競い合いと共感－中学校－」 〔小特集／わかることとゆさぶり発問〕 島山満枝「わかろうとする学習集団と発問」 倉崎一正「わかる＝わかりあう過程のゆさぶり発問」 平田利一「わかる授業づくりのための教師のゆさぶり」 砂沢喜代次「学習集団をめぐる研究課題」 坂本泰造「学習集団を育てることのねらい」 伊丹市昆陽里小学校「合評・『学習集団における班活動とは何か』を読んで」 上野ひろ美・鈴木敏彦「『陶冶』『訓育』概念の検討」
3	桑原昭徳「社会科授業と学習集団」(『学校教育』728号)
3	「特集・『生徒の発達のくずれ』にいとむ授業」(『高校生活指導』42号) 鞠川了諦「知的主体の問題をめぐる」 山下道也「“かしこさ”論」 竹内常一「低学力問題と教材文化」 〔実践記録〕 首藤隆司「韻文教材をどう教えたか」 浅川料夫「現代国語の授業をどう作るか」 古田紀子「脚本づくりを通じた世界史授業」 〔実践分析〕 吉田尚司「学習主体をつくりだす授業へむかって」
4	吉本均「学習集団のすすめ」(『教育技術・中学教育』23巻1号)
4	桑原昭徳「学習集団の授業における三つのレベル－算数『円の面積』の授業から－」 (『学校教育』729号)
4	砂沢喜代次編『集団思考によるわかる授業』明治図書

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	砂沢喜代次「集団による思考の発展」 杉山明男「集団思考と教材の構造－わかる授業づくりの理論－」 小田切正「集団思考によるわかる授業の構造」 (その他、青森県菖浦川小学校の授業分析を収録している)
4	出原泰明『技術指導と集団づくり』ベースボール・マガジン社
4	吉本均「連載講座・自治的集団と学習集団」(『特別活動研究』123～135号、78.4～79.3) 1 授業成立とは何か(78.4) 2 「教えること」の本質とは何か(78.5) 3 「よい発問」の条件とは何か(78.6) 4 「ゆさぶり」発問とは何か(1)(78.7) 5 「ゆさぶり」発問とは何か(2)(78.8) 6 指導的評価活動とは何か(1)(78.9) 7 指導的評価活動とは何か(2)(78.10) 8 指導的評価活動とは何か(3)(78.11) 9 学習集団における「統一と分化」とは何か(1)(78.12) 10 学習集団における「統一と分化」とは何か(2)(79.1) 11 授業の成立とは何か(1)(79.2) 12 授業の成立とは何か(2)(79.3)
5	「特集・『ゆとり』の問題－教材の文化性とは何か」(『生活指導』245号) 竹内常一「『ゆとり』の問題－学校の文化性を問う(下)」 家本芳郎「群読をどう指導したか」
5	吉本均「子どもに『励み』を与える教師の発問と応答の工夫」(『児童心理』380号)
5	桑原昭徳「授業と学級のれきしづくり」(『学校教育』730号)
6	大西忠治『学習集団実践論』明治図書 I 学習集団の指導と管理 1 教師の指導性の明確化 2 「学級」と「学習集団」 3 「学習集団」と「学級づくり」 4 学習集団における指導と管理の二重性 5 「学習」の集団的性格 6 生産労働の意味を教える学習集団 7 学習集団についての二つの流派 8 教育のロマンチズムからの脱却 9 「集団思考」について 10 学習集団研究の課題 II 学習集団実践論 1 組織的側面を問題にしない非常識－磯田一雄氏の文章に寄せて－ 2 発問は“説明”よりも大事か 3 実践は実践したものの理論を裏切る 4 集団や組織の問題をくぐりぬけてこそ

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	5 「説明」と「発問」と「指示」
	6 ふたたび「学習集団」とは何か
	7 「説明」と「指示」そして「発問」について(1)
	8 もう一度、「学級」集団、「学習」集団、基礎集団について
	9 「説明」と「指示」そして「発問」について(2)
	10 助言について
	11 「自発的な学習」の形態をどう生み出すか
6	「特集・自主的学習活動と学習課題」(『生活指導』246号) 川辺克己「自主的な学習課題をどう与えるか(1) -教科を通して-」 中村勝彦「自主的な学習課題をどう与えるか(2) -教科外を通して-」 〔自主的な学習課題をどう与えるか〕 小林義明「中学三年生の自主学習運動」 楠正明「『あめ』の群読をめぐる」 尾内弘美「手作り風土をチームの遊びから」
6	吉本均・久田敏彦「学習集団研究の展望と課題」(『教育方法研究年鑑・78年版』明治図書)
6	吉本均「教育実践の理論化とは何か-現代の教授学研究がめざすもの-」(『現代教育科学』255号)
6	吉田尚司「授業と学習集団の問題について」(『高校生活指導』43号)
7	大槻和夫「学習集団の形成と言語活動の指導」(『学校教育』732号)
7	橋本英幸「私の授業実践-『班学習』へのとりくみを中心に-」(『高校生活指導』44号) 遠山親雄「学習主体を確立させ、学習不振状況を克服する授業実践をどう築くか」(同上)
8	竹内常一『民主的人格の形成と高校教育(上)、学力問題と教科指導』明治図書
8	春田正治『戦後生活指導運動私史』明治図書
9	倉賀野志郎「『集団学習』は個の学力を高めることができるか-吉本氏の所論を中心に-」(『授業研究』187号)
9	吉本均「授業における集団づくりの意義と組織化」(吉田昇・沼野一男編『新訂版・教育方法』学文社)
9	吉本均「個性を伸ばし合う学習集団の創造-とくに『発問による教授行為』の意義について-」(『学校教育』734号)
10	L・クリングベルク(佐藤正夫監訳)『現代教授学の理論』明治図書
11	桑原昭徳「学習集団と私のかかわりから」(『学校教育』736号)
11	藤原幸男「学習集団論の賞賛・叱責に対する考え方」(『授業研究』189号)
12	「特集・授業が成立するとはどういうことか」(『生活指導』253号) 鞠川了諦「授業が成立する基礎条件はなにか-学習集団の根拠をめぐる-」 丸山武「授業の成立のために」 〔実践記録・授業をどう成立させてきたか〕 海崎義隆「『注文の多い料理店』構造読み」 鈴木順子「まず教師の要求で取り組みを」

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	蓮見悟「伸よ！ 読めるようになってくれ！ -授業が成立するとはどういうことか-」 長根直幸「分析・『授業』が『成立』するとは」
79. 1	吉本均「授業における応答とゆさぶり-学校の授業の現代的意義-」（『家庭と教育』209号、東方出版）
1	猪足秀子『学習集団による子どもの変革』東方出版
1	坂本泰造「学習集団における班の指導」（『生活指導』254号）
1	「特集・私の授業実践史」（『授業研究』191号） 坂本泰造「イメージ豊かな授業をめざして」 野崎坦良「『学習集団としての授業』をめざして」
1	「小特集・授業と学習集団」（『高校生活指導』46号） 遠山親雄「高生研における学力・学習集団の系譜メモ(1)」 高部訓武「学習集団の班とその構造」 〔実践記録〕 邑田真美「みんながわかることをめざして」 吉幸かおる「日本の隅りには顔があり心がある」 鞠川了諦「〔分析〕学習集団の方法をめぐる」
2	折出健二「学習集団の指導の見直し」（『現代教育科学』264号）
3	湯浅恭正「能動的学習の成立と授業指導の原則」（『教育方法学研究』第4巻）
4	吉本均「授業研究で求められているもの-『応答する関係』の質的發展とその指導-」（『学校教育』741号）
4	吉本均「『授業』で問われている学習集団の問題」（『現代教育科学』266号）
4	豊田久亀「連載講座・集団の教育力-学習集団と自治集団の関連-」（『特別活動研究』136~148号、79.4~80.3）
	1 授業と班(1) (79.4)
	2 授業と班(2) (79.5)
	3 なぜ授業で班を使うか (79.6)
	4 学習集団における評価=指導活動とは何か (79.7)
	5 学習集団における「個別的接近」とは (79.8)
	6 集団思考について (79.9)
	7 知的対決の過程としての集団思考を (79.10)
	8 もっと授業外での集団づくりを (79.11)
	9 学級づくりと教師の指導性 (79.12)
	10 学習集団の指導をめぐる問題 (80.1)
	11 授業における陶冶と訓育の統一の問題 (80.2)
	12 学習集団の授業像 (80.3)
4	「小特集・授業と学習集団」（『高校生活指導』47号） 遠山親雄「高生研における学力・学習集団の系譜メモ(2)」 〔実践記録〕 井出信男「合唱づくりを通してどう集団を教えたか」

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
6	<p>三井伸雄『「見ぬく」『学びあう』－授業における討論の意義』 西平正喜「〔分析〕全面発達にいとむ二実践」 「特集・『学習の規律』をつくり出す集団活動」(『特別活動研究』138号) 吉本均『『学習の規律』づくりがなぜ必要か』 「『学習の規律』をつくり出す集団活動の条件」 三原征次「学習要求をどう育てるか」 早田修三「全員発言・参加をどう保障するか」 高田清「集団思考・討議をどう組織するか」 山形英二「学習目的をどう自覚させるか」 「実践／『学習の規律』をどうつくり出したか」 窪田喜代子「学級のたからものとしての規律づくり」 菊地邦夫「授業が集団活動だ！ 子どもの内面をとらえる行事を」 米崎忠「子どもが生み出す学習規律」 岡松真一「班の活動を通じて学習の規律をつくる」 大嶋孜「生徒理解を深めつつ、基礎学力をつけるなかで」</p>
6	吉本均「学習集団研究の展望と課題」(『教育方法研究年鑑・79年版』明治図書)
6	<p>砂沢喜代次『集団思考の方法』明治図書 第1章 思想としての集団思考 第2章 集団思考のエネルギー 第3章 集団思考とコトバ 第4章 方法としての集団思考</p>
6	山下道也「授業における民主主義とは何か」(『高校生活指導』48号)
8	<p>前沢泰『前沢泰生活指導論集Ⅲ、授業と学習集団』明治図書 I 教科指導と生活指導 II 学習集団の追求 III 学習集団を育てる授業技術 IV 教材研究と授業</p>
8	<p>高生研編『学力の荒廃に挑む』明治図書 序章 「生活指導と学習集団」基礎論 (鞠川了諦) I 学力の荒廃に挑む集団づくり 1 敬さんを仲間に (矢野間竹松) 2 学校って楽しいね (桑原満里子) 3 無気力とのたたかい (菊地陸郎) II 授業と教師の指導性 1 班学習による授業 (中西宏) 2 この実践からどう学ぶか (遠山親雄) III 学力の荒廃に挑む授業 1 文化としての身体をひらく (高田剣) 2 音読の身体的訓練から (山下道也) 3 テレビ画面のように表象を (首藤隆司)</p>

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
	4 論証的対話を引き出す (吉田紀子)
	5 量数概論で概念ください (森協均)
	6 [分析] 学力の荒廃に挑む論理と訓練 (鞠川了諦)
8	大畑佳司『集団づくりと学習集団の指導』明治図書
8	吉本均『「ゆさぶり」研究の今後の課題』(『現代教育科学』271号)
9	吉本均『学級で教えるということ』明治図書
	一 授業における教授行為とは何か
	二 「ゆさぶり」発問とは何か
	三 学習集団の質的發展とは何か
	四 指導的評価活動とは何か
	五 教育実践の理論化とは何か
9	畠山満枝『学年別・学習集団の指導、小学1年』明治図書
9	早田修三『学年別・学習集団の指導、小学2年』明治図書
9	井出松雄『学年別・学習集団の指導、小学3年』明治図書
9	細美田鶴枝『学年別・学習集団の指導、小学4年』明治図書
9	松浦守男『学年別・学習集団の指導、小学5年』明治図書
9	蔵田ハツエ『学年別・学習集団の指導、小学6年』明治図書
9	「特集・授業における指導的評価活動とは何か」(『学習集団研究』第7集、明治図書)
	吉本均「指導的評価活動とは何か」
	豊田久亀「何をどう評価していくか」
	諸岡康哉「授業における学習規律の指導」
	[授業における指導的評価活動の実践]
	西田昌子「学習参加のための班評価」
	堀之内修「全員発言運動の課題達成のために」
	桑田秀寿「こどもの認識をゆさぶる発問」
	桑原昭徳「授業の中の評価の場と類型」
	岡松真一「積極的に発表する班を育てる評価」
	三重県山手中「学習規律を高めるための評価活動」
	[学習集団研究のために]
	中村春利「すべての子どもの学習保障とたしかな学力を」
	秋田県院内小「子どもの立場に立つということー学習集団と関連してー」
	広島県甲山中「やる気を育てる学習集団づくり」
	小西広光『「班学習」による商業一般の授業』
	[学習集団研究の海外の動向]
	藤原幸男「知的能力発達と授業構成ーJ・ロンプシャーの研究経過をたどってー」
	[理論講座]
	阿部好策「授業における『指さし』論ー西独教授学者K・ギールの研究を中心としてー」
9	砂沢喜代次「集団思考による全員参加の授業」(『学校教育』746号)
9	桑原昭徳「全員発表までの10日間」(『学校教育』746号)

藤原：「授業と学習集団」に関する研究文献(3) (1958年～79年)

年 月	著書・論文 所収雑誌・出版社
9	豊田久亀「学力の構造と授業」(日本教育方法学会編『教育方法10、学力の構造と教育評価のあり方』明治図書) 三橋謙一郎「授業過程における指導的評価活動のあり方」(同上)
12	藤原幸男「学習集団による授業改造—60年代授業研究・実践の一典型として—」(『琉球大学教育学部紀要』第一部、第23集)
12	桑原昭徳「学習規律の指導をどうするか」(『学校教育』749号)